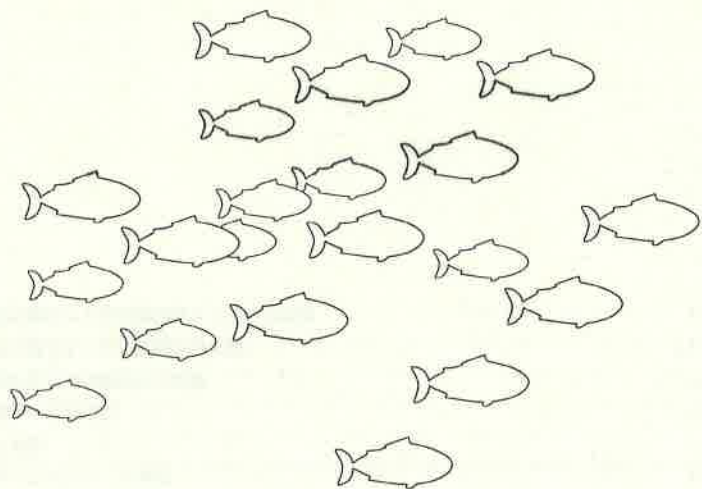
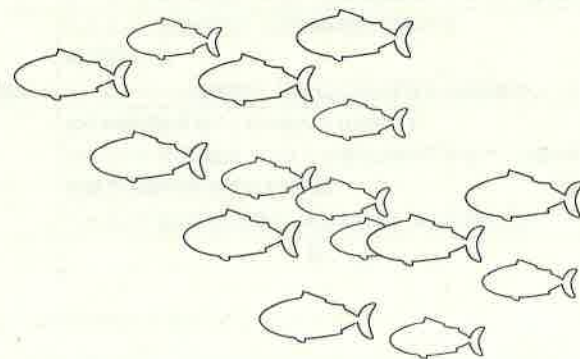


ひょうたん島川の駅ネットワーク構想(資料編)

Hyoutan jima river station



この資料編は、ひょうたん島川の駅ネットワーク構想策定の基礎となるデータ(アンケート調査結果や、ワークショップでのご意見、市民活動団体のヒアリング調査等)をまとめたものです。



平成26年2月

目次

1. 資料一覧表	P. 1
2. ひょうたん島の現状等	P. 2
3. ワークショップ	P. 4
4. ワークショップアンケート調査	P. 13
5. ワーキング会議	P. 28
6. 川の駅候補地の調査資料	P. 31
7. 川の駅周辺の主たる活動団体の概要	P. 37
8. 川の駅周辺を拠点とする活動団体分布図	P. 39
9. 川の駅周辺を拠点とする活動団体ヒアリング調査	P. 40

1. 資料一覧表

ひょうたん島川の駅ネットワーク構想における資料一覧表を次に示す。

項目	概要
ひょうたん島の現状等	ひょうたん島の名前の由来、地理、歴史、現状を提示した
ワークショップ	平成 24 年度～25 年度に 3 回開催 ひょうたん島川の駅ネットワーク構想の構築にあたり、市民の意見収集と体験活動を通して川の駅の PR を行った
ワークショップアンケート調査	ワークショップ体験後に、川の駅に対する意見や期待等のアンケート調査を行った アンケート調査結果は、市民構想会議で報告した
ワーキング会議	ひょうたん島川の駅ネットワーク構想の構築にあたり、活動団体等関係者によるワーキング会議を開催した 議題に応じて、適宜、活動団体等関係者を招集して行った
川の駅候補地の調査資料	ひょうたん島川の駅候補地として考えられる場所を選定し調査資料にまとめ、市民構想会議の検討資料として提示した
川の駅周辺の主たる活動団体の概要	ひょうたん島川の駅周辺の主たる活動団体を調査し、その概要をまとめ、市民構想会議資料として提示した
川の駅周辺を拠点とする活動団体分布図	ひょうたん島川の駅周辺を拠点とする活動団体を調査し、分布図にまとめ、市民構想会議資料として提示した
川の駅周辺を拠点とする活動団体ヒアリング調査	ひょうたん島川の駅周辺を拠点とする活動団体に個別ヒアリングを行い、その概要をまとめ、市民構想会議資料として提示した

2. ひょうたん島の現状等

◆ひょうたん島(内町地区)の現状◆

ひょうたん島(ひょうたんじま)は、徳島県徳島市の中心街をなす中州である。徳島平野東部に位置し、吉野川の分流の新町川・助任川・福島川に囲まれている。海には面していない。

市の行政上の地区としては内町地区(うちまちく)と一致する。この地区は島南西部の内町(北は現一番町・南は新内町・西は元町・東は富田橋通り)から名をとっているが、現在では内町地区全体を内町と呼ぶことが多い。

【島名の由来は】

- ・島の形がひょうたんに似ているから
 - ・現在の徳島町城内・東出来島町境付近の古い地名「瓢箪島(ひょうたんじま)」よりとされる。
- 1984年、徳島市主催の「魅力あるまちづくり講演会」で徳島県建築士会青年部が「ひょうたん島ルネッサンス構想」を提言したのが最初とされる。

【地理】

最高所の城山(標高61.7m)を除くほぼ全域において、標高2m前後の低地がひろがる。かつては島内にも寺島川という河川が流れていたが、鉄道の敷設により姿を消した。

島を縦貫する国道192号や横断する国道11号が交通の軸となっており、それらが交わる徳島本町交差点は重要な交通の結節点となっている。また、島の中央部には高速バスや特急列車が発着する徳島駅が立地しており、重要な交通の拠点となっている。

島の東側半分には、徳島市の中心業務地区が形成されている。徳島本町交差点から元町交差点にかけてはオフィスビルが立ち並び、徳島駅の周囲にはショッピングセンターや百貨店が集まっている。島内の商業地(駅前・八百屋町付近)及び住宅地(合庁付近)の公示地価は、いずれも徳島県において最も高い。

徳島中央公園に加え、島を取り囲むように公園が整備されており、そこは様々な用途で市民に広く利用される(資料3-3参照)。

【歴史】

(江戸時代)

江戸時代にはこの島は徳島藩主蜂須賀家の居城徳島城を中心とし、北東部が徳島、南西部が寺島、北西部が出来島という3つの島に分かれていた。徳島・寺島と寺島の間には寺島川が流れ、徳島城西の丸と出来島の間には瓢箪堀があった。出来島はかつては湿地帯で、近世までに埋め立てられた。瓢箪堀はその湿地帯の名残である。元は助任川に通じていたが、江戸時代初期に築堤されて流れが途絶えた。瓢箪堀の近辺(現在の徳島町城内・東出来島町境付近)縦90歩×横120歩の武家地を「瓢箪島」と呼んだ。その名の由来は、堀の形が瓢箪形だったとも、堀の中に瓢箪形の小島があったとも言われる。

徳島・寺島・出来島・瓢箪島は城下町の中核をなし、常三島・福島・住吉島を加えて阿波の七島と呼ばれた。のちのひょうたん島はほぼ全域が武家屋敷となったが、内町は町屋となった。また南部の、現在の南内町・幸町3丁目・中洲町は新町川の河床だった。

(明治時代～)

明治から段階的に、寺島川と瓢箪堀が埋め立てられ、1つの島となった。徳島城跡(現徳島町城内)は大半が徳島中央公園となった。城跡の一部が公園敷地からは除外されたが、大半は公共施設である。徳島城の東の旧徳島町(現在の徳島町とはやや異なる)は、公共施設や住宅地となった。

寺島には徳島駅が開設し、徳島市の玄関口として発展した。出来島は工場町となった。島の南部の川床は、堆積により干潟となっていたのが埋め立てられ、徳島港が建設された(現在の徳島港は海岸にある)。



※この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである(承認番号 徳島市指令部政10号)

図一ひょうたん島



(出典:徳島県立図書館 徳島市街全図)

図一大正7年当時のひょうたん島

【商業地区としての歴史】

(近代以前)

藩政時代は、徳島藩の御用商人が集まる地区として栄えた。明治に入ると、新町地区のほうが商業の中心として栄えるようになり、相対的に地位が低下した。しかし、1899年(明治32年)に徳島駅が開業すると、徳島市の玄関口として栄えるようになり、商店が建ち並んだ。その後、路線バス路線も徳島駅を中心に整備され、内町地区は徳島市の公共交通機関のターミナルとして成長した。

(終戦直後～高度経済成長期)

1945年(昭和20年)の徳島空襲により、内町地区全域が焼失したが、戦後はいち早く復興し、昭和30年代に入ると徳島名店街や地場百貨店のつぼみや(閉店後は「徳島ビブレ」を経て、複合商業ビルの「ラスト徳島」となったが、現在は空ビルとなっている)、南海ショッピングセンター(現:とくしまCITY)といった大型商業施設が相次いでオープンした。また、国道192号線(通称、国体道路)が整備され、沿道の八百屋町にはオフィスビルも建つようになった。

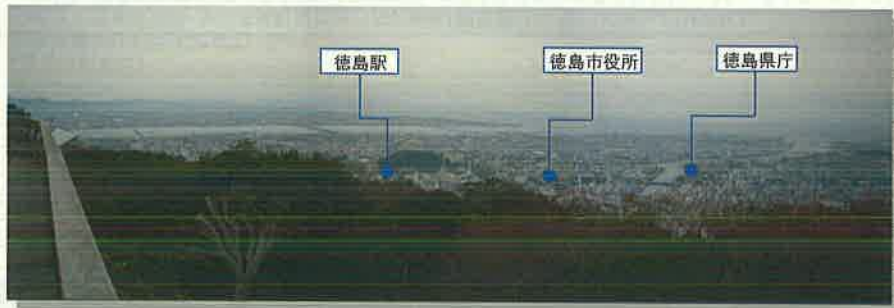
しかし、当時徳島県最大の繁華街として栄えていた新町地区と比較すると内町地区は規模が小さく、また、徳島駅前や藍場町には空襲の焼け跡の間市に由来するバラック街が残り、駅前西地区の広大な部分を内町小学校が占めるなど、県庁所在地の駅前としては見劣りしており、土地利用が有効にできていないことが徳島市や市民の間で指摘されるようになった。

その後、バラック街は昭和40年代取り壊され、1971年(昭和46年)に駅前西側にポッポ街商店街が整備された。(藍場町には藍場浜公園、郷土文化会館(現、あわぎんホール)、その地下には市営駐車場が整備された。)

(アミコビル開業後)

内町小学校の再開発は、1972年(昭和47年)に徳島商工会議所がまとめた徳島商業近代化計画で、中心市街地を駅前地区と新町地区を2つの核として整備、発展させるという「2眼レフ構想」が発表されたことが契機となってスタートし、紆余曲折を経て1979年(昭和54年)に主要テナントを大手百貨店のそごうに決定、1983年(昭和58年)、徳島駅前再開発ビルアミコビルとしてオープンした。この再開発の実現により、徳島駅前を中心とした内町地区の集客力は大幅にアップし、オープン後の1985年(昭和60年)には年間小売販売額で新町地区を上回った。

アミコビルオープン以降も、1993年(平成5年)にJR徳島駅ビル「徳島クレメントプラザ」が完成するなど、徳島駅前には順調な発展を続けた。最盛期の平成6年には年間小売販売額が866億円に達し、アミコオープン前(319億円)の約2.7倍となった。しかし、長引く景気低迷、2000年(平成12年)のそごう破綻とその後の経営改革による売上減少、2001年(平成13年)の県内初のシネマコンプレックスを備えたフジグラン北島(北島町)の開店をはじめとする、郊外の大型ショッピングセンターやロードサイド店舗の相次ぐ出店、高速道路網の整備や2009年3月28日から実施のETC休日特別割引などで高松や神戸や大阪への買い物客の増加などが原因となり、買い物客の減少が続いた。



眉山山頂から望む

【現 状】

そごう徳島店やクレメントプラザなどの商業施設では共同でバーゲンを開催するなど、少しでも消費者が流出しないよう力を入れているが、消費者流出の歯止めには余り至っていないのが実状である。一方で新たな来客喚起のための開発は行なわれており、2006年に名店街ビルがリニューアルオープンし、タリーズコーヒー・スターバックス・餃子の王将・マツモトキヨシなどの大手チェーン店が相次いで進出するなどしている。またそごう徳島店には、2010年10月にロフトが進出した。クレメントプラザやそごう徳島店のテナントの入れ替え、イベントも積極的に行われており、その効果も表れている。

2011年(平成23年)11月、隣町の藍住町にゆめタウン徳島がオープンした。店舗面積は40000㎡と、アミコビルを上回って県下最大の大型商業施設であり、160店のテナントのうち半数以上を徳島県内初や四国初のテナントが占めている。関西など県外への消費流出を食い止め、商業の活性化が期待される一方、中心市街地の衰退を加速させるのではないかと懸念されている。徳島駅前の大型商業施設は、テナントの充実などの対抗策に出ている。

2012年(平成24年)春には、アミコビルに徳島市立図書館が移転オープンした。蔵書数を大幅に増やし、閉館時間を21時とするなど、これまでの図書館に比べ、利便性は大きく向上させたため来館者が大幅に増加し、中心市街地の賑わいづくりに大きく貢献している。



徳島駅ビル及びバスターミナル



徳島そごう(写真左)周辺



徳島駅ビル

3. ワークショップ

3.1 ワークショップの概要

ワークショップの概要を次に示す。

	開催日時／開催場所	概要（項目等）
第1回ワークショップ	平成25年2月16日（土） 10:00～12:00 ／徳島市役所13階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん島川の駅ネットワーク構想について ・ひょうたん島川の駅候補地について ・川の駅候補地での活動について考えよう ・グループの意見を共有しよう ・ふりかえりアンケート
第2回ワークショップ	平成25年5月25日（土） 10:00～14:30 ／ひょうたん島周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん島クルーズ → ひょうたん島クルーズを楽しもう ガイドボランティアの案内を聞こう ・川の駅候補地周辺で体験してみよう① → アクア・チッタのイベントに参加 ・川の駅候補地周辺で体験してみよう② → 両国橋たもとポンツーンの上で昼食を食べよう ・川の駅候補地周辺で体験してみよう③ → 四国大学フレンドリーキッズサークルによる親子体験イベントに参加 ・ふりかえりアンケート
第3回ワークショップ	平成25年10月26日（土） 10月27日（日） 10:00～16:00 ／ひょうたん島周辺：新町・両国エリア、助任橋周辺エリア・万代中央ふ頭エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・仮橋の設置 → 徳島ひょうたん島博覧会にあわせて、助任橋たもとに仮橋を設置し、周遊船の乗降を行うことで、川の駅ネットワークの周知と橋利用の実験 ・3エリアにて参加者アンケート → 新町・両国エリア、助任橋周辺エリア、万代中央ふ頭エリアにて、徳島ひょうたん島博覧会参加者を対象としたアンケート調査 ・徳島ひょうたん島博覧会参加団体アンケート → 徳島ひょうたん島博覧会に参加した協力団体を対象としたアンケート調査 ・アンケート部隊アンケート → 直接アンケート調査を行ったアンケート部隊（大学生）のアンケート調査

3.2 第1回ワークショップまとめ

1. 概要

第1回ひょうたん島川の駅ワークショップの概要を次に示す。

第1回ワークショップの概要

項目	内容	備考
開催日時	2013年2月16日（土）午前10:00～12:00	
開催場所	徳島市役所13階大会議室	
参加者	一般申し込み者：28名・オブザーバー：4名・スタッフ17名（計：49名）	
配付資料	プログラム・ワークショップのお約束・川の駅ワークショップのイメージ・川の駅候補地絞り込み（案）・アンケート調査票	
グループ数	4グループ（A～D）	
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> はじめに はじめのあいさつ ひょうたん島川の駅ネットワーク構想について ひょうたん島川の駅候補地について 川の駅候補地での活動について考えよう 川の駅候補地ごとにできることを考えよう 活動に必要な人・もの等について考えよう 実際に活動する時期を考えよう グループの意見を共有しよう グループで話し合った活動について発表しよう おわりに 次回ワークショップについて その他連絡事項 → アンケート回答のお願い おわりのあいさつ 	

2. ワークショップ意見のまとめ

第1回ひょうたん島川の駅ワークショップでは、市民構想会議で検討された川の駅候補地とその周辺を利活用した活動について、参加者が4つのグループに分かれて意見交換を行った。意見交換の内容を基に、川の駅候補地ごとのまとめを次に示す。

第1回ワークショップ意見のまとめ

	キーワード	活動内容	活動に必要な人・もの	グループ名
①新町橋河畔 棧橋周辺	子どもや親子対象のイベント	子どもや親子を対象としたものづくりやゲームをするイベントを開催する	日常のものを持ち寄る(牛乳パック・段ボールなど)	Aグループ
	伝統文化	リアルなお化け屋敷をする	東新町商店街の空き店舗	Cグループ
	徳島の食	京都から舞妓さんを招いて京舞の演舞をする	京都の芸子さん 徳島の芸子さん	Aグループ
	川の駅拠点としての整備	マルシェや中洲市場で買ったものを調理して提供する	マルシェや中洲市場との連携 調理してくれる店	Bグループ
②あわぎんホール 前棧橋	グルメ	川の駅拠点として整備を行う	川の駅の案内板 徳島の歴史案内板 公園整備	Bグループ
	芸術	拠点となるスペースを確保して利用者の利便性を図る	休憩スペース カフェ	Cグループ
	寺めぐり	ラーメン、焼き餅、和菓子の食べ歩き(隠れた名店のPR)	各店の協力(割引チケットなど)	Dグループ
③文学書道館 寂庵棧橋	芸術	あわぎんホールで開催される美術展等を野外美術展としてアートに触れる機会を増やす	美術展との連携	Dグループ
	寺めぐり	眉山・寺町・大瀧山の寺めぐりをする 写楽の墓のある寺などを案内し、神社仏閣を観光資源として活用する	各寺の協力 寺を案内できる人	Dグループ
	ウォーキング	ウォーキングコースの設定(ウォーキングを楽しんだ後、買い物をして船で帰るといったコース)	ウォーキングコースの設定	Bグループ
	子どもや親子対象のイベント	学生が模擬店などをして子どもを集めたり、大学の施設を借りてイベントをする 面白いスポットを探すイベントを開催する	学校の協力 近隣のお店の協力	Cグループ
④文学書道館 寂庵棧橋	学生活動の場づくり	学生や子どもの活動できる場づくりをする	周辺の学校等の協力 幼児教育や芸術などを専攻する学生	
	キャンドルイベント	100万人のキャンドルナイト実行委員会等、イベント協力団体との連携		Dグループ

④ 助任橋 たもと 棧橋	食のイベント	大学生しか知らない学生街のグルメを再発見する	学生アンケート お店ランキング グルメマップの作成 出店者の募集	Aグループ
	憩いの場所整備	高齢者が憩える場所として整備する	避難所兼用の休憩施設	Bグループ
	避難場所の整備	避難場所として整備する		
	学生活動の場づくり	キャンパスプラザを設置する(対象ユーザーを学生に絞る)	大学・行政・NPO団体の連携	Cグループ
	スポーツイベント	武道館や公園のマラソンコースを活用してスポーツイベントを開催し、イベント参加者の移動手段として船を使う	公園関係者との連携 新町川を守る会との連携	Dグループ
⑤ 徳島文化 公園前 棧橋	ファミリーバックツアー	中央公園でピクニックするファミリー向けのひょうたん島クルーズを開催する(バックツアーにする)	バックツアーの主催団体	
	川の駅周辺を徳島マラソンコースに加える	徳島マラソンの公認ルートに設定してもらう		
	子どもとのふれあい	公園で大学生を中心とした子ども向けの運動や遊びをする 子ども達が広い場所で楽しく遊べるブースをつくってイベントをする	テントなどの風や光対策 大学生の協力 →四国大学フレンドリーキッズクラブ	Bグループ
⑥ 万代中央 ふ頭 棧橋	子どもや親子で楽しめる場づくり	ひょうたん島造船所をつくる(徳島の木材産業を活かして公園で船をつくる)	林業・木材業との連携 船大工 NPO団体(運営主体)	Cグループ
	歴史散策	ひょうたん島歴史散策とお茶会をセットにして開催する(藩政の松・福島橋・住吉神社などの歴史名所を活用する) 酒蔵散策をする	案内人 歴史に詳しい人 パンフレット	Dグループ
⑥ 万代中央 ふ頭 棧橋	水辺のアクティビティ	釣り大会(釣り堀)をする	釣具屋さんの協力(貸し釣り具・エサ販売) 釣り連盟の協賛・賞品	Aグループ
		マリンスポーツ・カヤックを行う	指導者による指導と安全管理 スポーツショップと連携 アウトドアNPOの協力	
	夏祭り・花火大会	ヨットやカヤックなどのウォーターレジャーイベントを開催する	倉庫でイベントを実施する人 実証実験参加者の募集 規制緩和	Bグループ
		水辺を活かしたセミナーやワークショップを開催する		
		水辺の防災イベントを開催する	徳島の川を守る意識のある人	
夏祭り・花火大会	夏祭りや花火大会を行う 生演奏の音楽と花火をシンクロさせた音楽花火イベントを開催する	屋根のある休憩所 アクア・チッタ 周辺住民の理解 花火大会の協賛金 駐車場	Bグループ	

⑥ 万代中央ふ頭 棧橋	大人が楽しむ場づくり	カジノの誘致 結婚式場もあり大型客船も来航できるリゾート開発をする	行政・企業の連携	Cグループ
	パーク・アンド・ライド	アスティ徳島への発着場として利用する	大型駐車場	Dグループ
	棧橋の整備	天文山に行く棧橋を設置する		
	釣りイベント	釣りイベントを開催する	釣り堀設備	
⑦ 県庁前 棧橋	船の係留	ビジターハーバー（主として県外からの船の係留施設）として、県外からの観光客を誘致	周辺にスーパーマーケットなど船で訪問した人の身の回り品が調達できる所	Aグループ
	ヨットイルミネーション	ケンチョビアの停泊しているヨットのLEDイルミネーションのトータルデザイン	ヨットクラブの協力	Bグループ
	空港とホテルの連携	空港から直接グランヴィリオホテルへチェックインできる船の送迎	旅行会社のパッケージ化運営主体となる団体等	Cグループ
⑧ 新町川水際公園 ボートハウス前 棧橋	子どもや親子対象のイベント	リアルなお化け屋敷をする	空き店舗	Cグループ
	若手の育成	船乗り育成塾の開催（船乗りの後継者を育成する）	新町川を守る会の協力 育成塾の塾生 育成塾を行う団体	
	婚活から結婚式まで	エムズ・ハピネスで婚活パーティをする 水上結婚式の開催 水上離婚式の開催	エムズ・ハピネスの協力 広報宣伝活動 商工会議所青年部の協力	
	ひょうたん島一周	ひょうたん島を歩いて一周できるような整備をする 川辺を整備して、マラソンコースをつくる サイクリングロードをつくる	駐輪スペース レンタサイクル	Aグループ
全体	ウォークラリー	1日歩行者天国を開催する（歩く楽しさの発見や糖尿病対策）		Aグループ
	船めぐり観光	ループバスのように船の運航をする	イベント主催団体	
	イベント連携	はなはるフェスタと連携して川の駅イベントを開催する		
	阿波おどり広場	各川の駅に阿波おどり広場をつくる	企業協賛 JALなどと連携	
	食のイベント	各川の駅で違った食の提供をするイベントを開催する 徳島の有名な食べ物を出店する 特産品の販売も行う	テント 出店者の募集 企業協賛 休憩場所	

全体	パーク・アンド・ライド	交通手段として川の駅を利用するための駐車場を整備する	駐車スペース	Aグループ
	名所めぐりツアー	名所や旧跡をめぐるツアーを開催する	各川の駅の名所を発掘 名所パンフレットの活用 ガイドの養成	
	「川の駅の日」の設定	年に1回「川の駅の日」を設けて各川の駅で同時にイベントを開催する	各関係団体との連携	
	子ども対象のイベント	全体を使って子ども対象のイベントを開催する	子ども達に徳島の誇りを伝えられる人 川をきれいにしたい人 収支計画 駅長や常駐スタッフ 川の駅ファン ツアーガイド 安全管理者 トイレ施設	Bグループ
	貸しボート	新町橋河畔棧橋を母港として貸しボートを運営する（10隻程度）	貸しボート（全国の廃園になった遊園地等の無償提供） 新町川を守る会に管理委託	Cグループ
	いかだレース	ひょうたん島一周いかだレースを開催する	日本モーターボート連合会の協力	
	船上流鏝馬（やぶさめ）	船上から弓・アーチェリーなどで流鏝馬を開催する		
	カヌー教室	定期的にかヌー教室を開催する	カヌー・カヌー指導者 広報活動	
	船上バードウォッチング	船上からバードウォッチングをする	日本野鳥の会の協力	
	川に関するクイズイベント	川を走る船にヒントを書いてクイズに答えるイベントを開催する		
	子ども体験活動	ものづくり体験やゲームのブースを設けて子どもや親子で楽しめる体験活動を開催する	学生（フレンドリーキッズクラブ）の協力 ものづくりの材料	
	船上飲食	とくしまマルシェやスーパー等で購入した飲食物を持参して屋形船で飲食を楽しむ	とくしまマルシェと連携 飲食店やスーパーと連携	
	環境整備	川沿いの家の外壁緑化などを推進する 景観やまちなみを考える 最初は観光目的の川の駅でも良いが川の駅が定着してきたら生活環境として整備する	近隣や川沿いの住民 建築士などの協力	
	アート展	場所ごとにテーマを決めて護岸にアート展を開催する	漫画や絵の作成・募集 アーティストとの協働 教育委員会や社会福祉協議会、生涯教育教室等との連携	
	川舞台	川を舞台として船上ライブなどを行う	新町川を守る会やエムズ・ハピネス等と連携	
	ミニ八十八箇所	川の駅周辺に八十八箇所を設置してオリエンテーリングをする	四国八十八箇所寺の協力	

全体	1日フリーパス	1回料金で1日船を利用できる1日フリーパスをつくる	新町川を守る会との連携	Dグループ
	クルージング結婚披露宴	クルージングで結婚披露宴を行う	結婚式場との連携 運営団体・広報活動	
	ひょうたん絵馬	各川の駅にひょうたん型の絵馬をつける	ひょうたん型の絵馬	
	川の駅スタンプラリー	川の駅スタンプラリーを行う	各川の駅ごとのマップ スタンプラリー台紙	
	ぐるり一周遊歩道	ひょうたん島をぐるり一周できる遊歩道を整備する		
	駅の機能整備	駅に必要な機能を整備する 物産品の販売も行う	駅長・駅員 物産コーナー トイレ・待合室等	
その他	北島町との連携	新町川から北島町まで船で行きフジグランで映画鑑賞する 花見シーズンに、船に乗って北島町の川沿いの桜を觀賞する	新町川を守る会および 吉野川を守る会との連携	Cグループ



写真 1 ワークショップ開会



写真 2 開会のあいさつ



写真 3 ワークショップの様子



写真 4 ワークショップの様子



写真 5 Aグループ



写真 6 Bグループ



写真 7 Cグループ



写真 8 Dグループ



写真 9 Aグループ発表



写真 10 Bグループ発表



写真 11 Cグループ発表



写真 12 Dグループ発表

3. 3 第2回ワークショップまとめ

1. 概要

第2回ひょうたん島川の駅ワークショップの概要を以下に示す。

第2回ワークショップの概要

項目	内容	備考
開催日時	2013年5月25日(土) 午前 10:00~14:30	
開催場所	ひょうたん島周辺	
集合場所	万代中央ふ頭	
参加者	一般参加者：保護者 13名・子ども 14名・協力団体 24名・スタッフ 14名 昼食準備者：3名・メディア：3名 (計：71名)	
協力団体	NPO法人新町川を守る会、NPO法人アクア・チッタ、万代中央ふ頭に ぎわいづくり協議会、とくしま観光ガイドボランティア会、徳島県商店街 振興組合連合会青年部、徳島市市民活力開発センター、四国大学フレンド リーキッズサークル	
配付資料等 プログラム	プログラム・アンケート調査票 1. はじめに はじめのあいさつ 本日の予定 2. ひょうたん島クルーズ ひょうたん島クルーズを楽しもう ガイドボランティアの案内を聞こう 3. 川の駅候補地周辺で体験してみよう① アクア・チッタのイベントに参加 「水辺のまちをつくろう！」創作教室 4. 川の駅候補地周辺で体験してみよう② 両国橋たもとボンツーンで、みんなでお昼ご飯を食べよう 5. 川の駅候補地周辺で体験してみよう③ 四国大学フレンドリーキッズサークルによる親子体験イベントに参加 6. おわりに 今日のふりかえり アンケート回答・回収 おわりのあいさつ	3.→4.→5. →6.は、す べて周遊船 により移動 した

1. ワークショップの様子

【はじめに】



写真 1 はじめのあいさつ



写真 2 本日の予定紹介

【ひょうたん島クルーズ】



写真 3 新町川を守る会の周遊船に乗り込む



写真 4 とくしま観光ガイドボランティア会の案内

【川の駅候補地周辺で体験してみよう②】 両国橋たもとポンツーンで、みんなでお昼ご飯を食べよう



写真 9 ビュッフェ式の徳島産素材による料理



写真 10 はっとりさんよりチョイスの魚を紹介

【川の駅候補地周辺で体験してみよう①】「水辺のまちをつくらう！」創作教室



写真 5 アクア・チッタによる創作教室



写真 6 親子で「水辺のまち」のパーツを制作



写真 11 料理をセルフでチョイス



写真 12 ポンツーン（浮き桟橋）でお昼ご飯



写真 7 みんなで水辺のまちづくり



写真 8 みんなでつくった水辺のまちで記念撮影

【助任橋たもとに着岸の様子】



写真 13 助任橋たもとでの着陸準備の様子



写真 14 助任橋たもとに着岸

【川の駅候補地周辺で体験してみよう③】 四国大学フレンドリーキッズサークルによる体験イベント
公園内を探索して、ワードを完成させよう（答えは「ひょうたん」）



写真 15 体験イベントのはじまり



写真 16 ワード集めのクイズに挑戦



写真 17 真剣にクイズの答えを探す



写真 18 答え合わせしてプレゼントをもらう

【助任橋たもとから離岸の様子】



写真 19 助任橋たもとから乗船中



写真 20 無事に離岸して万代中央ふ頭を目指す

【万代中央ふ頭に着岸の様子】



写真 21 万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会により
着岸準備



写真 22 無事に着岸して上陸中

【おわりに】



写真 23 アンケート回答中



写真 24 おわりのあいさつ

2. ワークショップ検証

第2回ワークショップの検証は、アンケート調査により行った。
アンケート調査結果は、別紙参照。

3. 【参考】ワークショップ参加者からの便り



3. 4 第3回ワークショップまとめ

1. 概要

第3回ひょうたん島川の駅ワークショップの概要を次に示す。

項目	内容	備考
開催日時	2013年10月26日(土)27日(日)午前10:00~16:00	
開催場所	ひょうたん島周辺：新町・両国エリア、助任橋周辺エリア・万代中央ふ頭エリア	
集合場所	助任橋たもと仮設橋前テント	
内容	① 仮設橋の設置 →ひょうたん島博覧会にあわせて、助任橋たもとに仮設橋を設置し、周遊船の乗降を行うことで、川の駅ネットワークの周知と棧橋利用の実験を行った ② 3エリアにて参加者アンケートを実施 →新町・両国エリア、助任橋周辺エリア、万代中央ふ頭エリアにて、ひょうたん島博覧会参加者を対象としたアンケート調査を行った ③ ひょうたん島博覧会参加者アンケートを実施 →ひょうたん島博覧会に参加した協力団体を対象としたアンケート調査を行った ④ アンケート部隊アンケートを実施 →直接アンケート調査を行ったアンケート部隊(大学生)にも、アンケート調査を行った	
協働団体	・徳島県建築士会青年部 →川の駅イメージブースの設置、周遊船チケット売場の設置 ・NPO法人眉山大学 →ダンボールによる阿波藩ご用船「千山丸」復元と進水式、ミニ船づくりワークショップの開催 ・NPO法人新町川を守る会 → 周遊船の乗降 ・徳島市民活力開発センター → アンケート部隊の調達と調整	
アンケート項目	※【ひょうたん島博覧会参加者用】 属性：性別・年代・住まい・交通手段・催しを知ったきっかけ 問1. ひょうたん島周辺には、どのくらい来られていますか？ 問2. ひょうたん島周辺には、どんな目的で来られていますか？ 問3. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」を知っていましたか？ 問4. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」に何を期待しますか？ 問5. ひょうたん島川の駅およびその周辺にどのようなものがあれば良いと思いますか？ 問6. 徳島ひょうたん島博覧会に参加した催しの中で、楽しかったもの、または、楽しみにしてきたものを教えてください ※【ひょうたん島博覧会協力団体用】 属性：団体名・性別・年代・住まい・交通手段 問1. ひょうたん島周辺には、どのくらい来られていますか？ 問2. ひょうたん島周辺には、どんな目的で来られていますか？ 問3. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」を知っていましたか？ 問4. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」に何を期待しますか？ 問5. 川の駅候補地の中で、特にハード整備及びソフト施策等が望まれる場所を1つ選んでください 問6. 問5で選んだ川の駅に望まれるハード整備及びソフト施策等を具体的にご記入ください 問7. ひょうたん島川の駅およびその周辺にどのようなものがあれば良いと思いますか？ 問8. ひょうたん島川の駅周辺でどのような活動をしてみたいですか？ 問9. 徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の感触はいかがでしたか？ 【アンケート部隊用】 属性：団体名・性別・年代・住まい・交通手段 問1. ひょうたん島周辺には、どのくらい来られていますか？ 問2. ひょうたん島周辺には、どんな目的で来られていますか？ 問3. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」を知っていましたか？ 問4. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」に何を期待しますか？ 問5. ひょうたん島川の駅およびその周辺にどのようなものがあれば良いと思いますか？ 問6. ひょうたん島川の駅周辺でどのような活動をしてみたいですか？ 問7. 徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の感触はいかがでしたか？ 問8. 徳島ひょうたん島博覧会でイベント等を行った協力団体の感触はいかがでしたか？	
アンケート回答者数/配付数	徳島ひょうたん島博覧会参加者：950名/950名(現地で100%回収) 徳島ひょうたん島博覧会協力団体：12団体(42名)/20団体(80名)(郵送にて回収) アンケート部隊：18名/18名(現地で100%回収)	

2. ワークショップの様子



写真1 仮設橋の設置状況



写真2 仮設橋の利用状況



写真3 新町川を守る会の周遊船乗降の様子①



写真4 新町川を守る会の周遊船乗降の様子②



写真5 アンケート調査の様子①



写真6 アンケート調査の様子②



写真 7 眉山大学にてワークショップで復元されたダンボール船「千山丸」



写真 8 千山丸進水式の様子



写真 9 千山丸進水式の様子（甲冑を装着した殿様乗船）



写真 10 パレードで賑わう助任橋周辺の様子



写真 11 眉山大学によるミニ船づくりの様子



写真 12 建築士会青年部による周遊船チケット売場の様子

4. ワークショップアンケート調査

4. 1 ワークショップアンケート調査の概要

ワークショップアンケートの概要を次に示す。

	開催日時/開催場所	概要
第1回ワークショップアンケート	平成25年2月16日(土) ワークショップ終了後 /徳島市役所13階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象者：ワークショップ参加者28名 回収率93% (26名/28名の回答) アンケート概要 <ul style="list-style-type: none"> → 今日のワークショップについて川の駅の活動への協力について次回体験ワークショップを成功させるポイント川の駅に期待すること
第2回ワークショップアンケート	平成25年5月25日(土) ワークショップ終了後 /アクア・チャタ倉庫	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象者：保護者13名、子ども14名、受け入れ団体5団体25名 回収率：保護者92.3% (12名/13名の回答)、子ども100%、協力団体100% アンケート概要(保護者用) <ul style="list-style-type: none"> → 今日のワークショップについて今回ワークショップの活動内容について川の駅に望むこと団体が連携した活動について今後の参加の有無参加費について今回のWSへの感想や改善点について アンケート概要(子ども用) <ul style="list-style-type: none"> → 今日のワークショップについて今後の参加の有無どんな遊びがあったら良いかについて アンケート概要項目(受け入れ団体用) <ul style="list-style-type: none"> → 今回のWSの良かった点と改善点川の駅ネットワークに必要なこと活動連携に必要なこと川の駅ネットワークに貢献できること
第3回ワークショップアンケート	平成25年10月26日(土) 10月27日(日) 10:00~16:00 /ひょうたん島周辺：新町・両国エリア、助任橋周辺エリア・万代中央ふ頭エリア	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象者：徳島ひょうたん島博覧会参加者950名 協力団体20団体(80名) アンケート部隊18名 回収率：参加者100%、協力団体53%(42名/80名) アンケート部隊100% アンケート概要(参加者用) <ul style="list-style-type: none"> → ひょうたん島周辺への訪問頻度と目的川の駅ネットワーク構想の認知度川の駅ネットワークへの期待川の駅周辺であればよいもの今回の徳島ひょうたん島博覧会の楽しかった点 アンケート概要(協力団体用) <ul style="list-style-type: none"> → ひょうたん島周辺への訪問頻度と目的川の駅ネットワーク構想の認知度特に力を入れた川の駅について川の駅周辺であればよいもの川の駅周辺で活動したいこと今回の徳島ひょうたん島博覧会参加者の感触 アンケート概要(アンケート部隊用) <ul style="list-style-type: none"> → ひょうたん島周辺への訪問頻度と目的川の駅ネットワーク構想の認知度川の駅ネットワークへの期待川の駅周辺であればよいもの川の駅周辺で活動したいこと今回の徳島ひょうたん島博覧会参加者の感触今回の徳島ひょうたん島博覧会参加団体の感触

4. 2 第1回ワークショップアンケートのまとめ

1. 概要

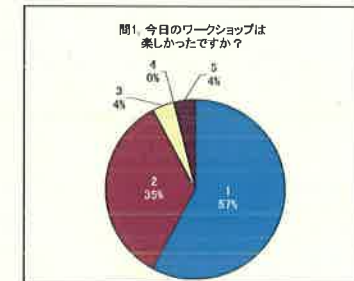
第1回ワークショップアンケートの概要を次に示す。

アンケート調査の概要

項目	内容	備考
実施日	2013年2月16日(土)	
調査対象者	ワークショップ参加者(28名)	
アンケート調査項目	1. 今日のワークショップは楽しかったか(択一回答) 2. ワークショップで自分の意見は言えたか(択一回答) 3. ワークショップで他人の意見は聞けたか(択一回答) 4. 川の駅の活動に協力できるか(択一回答) 5. どのような活動に協力できるか(記述回答) 6. 活動体験ワークショップを成功させるポイント(記述回答) 7. 川の駅に期待すること(記述回答)	調査票参照
配付・回収方法	ワークショップで配付し、ワークショップ終了後に実施・回収	
回収率	約93%(28名中26名の回答)	

1) 今日のワークショップは楽しかったか?

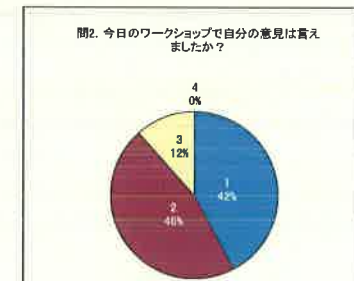
問1では、ワークショップを楽しめたかどうかを促す質問で、回答者26名中、楽しかった57%(15名)、まあ楽しかった35%(9名)と、回答者の92%が比較的楽しく参加できたことが伺える。残り8%は、あまり楽しくなかったと回答した人が1名、その他として参考になったと回答した人が1名となっている。



- 楽しかった(15名)
- まあ楽しかった(9名)
- あまり楽しくなかった(1名)
- 楽しくなかった(0名)
- その他

2) ワークショップで自分の意見は言えたか?

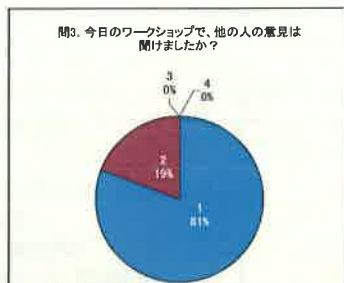
問2では、ワークショップで自分の意見が言えたかどうかを促す質問で、回答者26名中、言えた42%(11名)、まあ言えた46%(12名)と、回答者の88%が比較的自分の意見を言えたことが伺える。残り12%は、あまり言えなかったと回答した人が3名となっており、このうちの2名は大学生の回答であった。



- 言えた(11名)
- まあ言えた(12名)
- あまり言えなかった(3名)
- 言えなかった(0名)

3) ワークショップで他人の意見は聞けたか?

問3では、ワークショップで他の人の意見が聞けたかどうかを促す質問で、回答者26名中、聞けた81%(21名)、まあ聞けた19%(5名)となっており、回答者全員が比較的他の人の意見が聞けたことが伺える。



1. 聞けた(21名)
2. まあ聞けた(5名)
3. あまり聞けなかった(0名)
4. 聞けなかった(0名)

4) 川の駅の活動に協力できるか?

問4では、次回以降の体験活動ワークショップを含めて、今後、川の駅の活動に協力できるかどうかを促す質問で、回答者26名中、協力できる46%(12名)、できるだけ協力する46%(12名)と、回答者の92%が、活動への協力を惜しまないことが伺える。

また、この質問では、協力できる、できるだけ協力すると回答した人に、氏名の記入を促しており、24名の記入があった。これを元に、今後の活動への協力依頼等に役立てるものとする。



1. 協力できる(12名)
2. できるだけ協力する(12名)
3. 協力できない(1名)
4. 無回答(1名)

5) どのような活動に協力できるか?

問5では、問4で、活動に協力できる、できるだけ協力すると回答した人に、どのような活動に協力できるかについて記述回答を促した。回答意見を次に示す。

表1 協力できる活動

キーワード	記述回答(要約)
ワークショップ・アイデア出し	・ワークショップなど(2名) ・ワークショップへの出席 ・今回の意見をもとに、次回ワークショップ(現地活動)に参加したい ・アイデアを出すこと ・意見交換
万代ふ頭の活用	・万代中央ふ頭を川の駅として、にぎわいあるまちにする ・万代ふ頭の駅づくりに協力したい ・岸壁の使用
イベント協力	・「親子を対象にしたイベント」として物づくりや手づくりのゲームなどを体験できるブースの設置 ・子どもと関わるような活動 ・イベントでの人的貢献 ・実証実験参加者へのサポートなど
イベント参加	・イベントへの参加(2名)
まちなみ等の整備	・まちなみに関ること ・建築に関連する事項 ・ハードの整備など
人材育成	・船乗りの育成に関する活動など
PR活動	・川の駅のPR活動
何でも協力する	・できるだけ何でも(日付によるが) ・全体 ・できることなら何でも協力する
その他	・川を活かした先進事例の紹介などを知りたい ・今後のワークショップで出てくる活動など ・何をするか具体的な提示がないと今の段階では示せない

6) 活動体験ワークショップを成功させるためのポイント

問6では、活動体験ワークショップを成功させるためのポイントについて記述回答を促した。回答意見を次に示す。

表2 活動体験ワークショップを成功させるポイント

キーワード	記述回答(要約)
明確なテーマ	・テーマを明確にしておく ・テーマをもう少し絞り、具体的な実現策を探っていきたい ・あらかじめテーマを決めて、先に案内いただいたら予習できる
連携	・候補地で連携したイベント ・キーマンの選定 ・連携
市民参加	・本当に徳島を良くしたいと思っている人を数多く集める ・今日出た意見をいくつかの選択肢として、市民に広報誌でアンケートを取るなどして、どのような事業をしていくかを定めること ・市民が選んでイベントとして定着させていくことが大切
意志疎通を図る	・遠慮せずに意見を言う ・何でも話せる雰囲気
活動の実現	・課題抽出により、「○○したいなあ」というアイデアや夢だけで終わらせない
やってみる	・何でもやってみる ・実際に船に乗船する
活用	・既存の物、店などを利用する
戦略	・短期と長期の時間軸(可能性)で考える
準備	・事前の準備 ・活動時に人が多いと、説明が聞き取れなかったり、次にどこに行くか分からないので、事前にレジュメなどがあると分かりやすい
その他	・ひょうたん島の周遊船に乗った経験が必要 ・現在の進行スタイルで問題ない ・特にない

7) 川の駅に期待すること

問7では、川の駅に期待することについて記述回答を促した。回答意見を次に示す。

表3 川の駅に期待すること

キーワード	記述回答(要約)
実現する	・知恵を出して実現してほしい ・川の駅が実現することを期待する
地域活性化	・地域の活性化 ・徳島の活性化 ・川の駅を軸に徳島の活性化 ・活性化
イメージアップ	・水の都徳島のイメージアップ ・徳島らしい川の駅を期待したい
名物	・徳島の名物にして欲しい ・徳島に「川の駅」あり ・日本一の川を使った交通網、観光ルートにしていきたい ・長く親しまれるものになって欲しい
徳島の発展	・徳島市民として徳島の発展 ・川の駅を中心にして徳島が発展していくこと
連携	・コラボできる地域や団体と協力しあえたらよいと思う
広域連携	・北島町まで発展させてほしい
全国発信・PR	・全国に発信できるものとして期待している ・徳島から全国発信できるイベントになればよい ・日常の交通手段というより徳島を代表する観光地としてPRしたらよいと思う
魅力発信	・川の駅を通して多くの方にひょうたん島の魅力を知ってもらいたい ・県外の方はもちろん、徳島の方にも知ってもらいたい
地元の関心	・まずは、ひょうたん島や周辺に住む人が当事者意識を持つように導いてほしい ・地元の人の利用が少ない気がするのでその対策が必要 ・地元の人に愛される施設にしてほしい
船を増やす	・船の増加
クルーズの利用	・世代を問わず、多くの人がひょうたん島の存在を知って、クルーズを利用できるようにしてほしい
日常と非日常	・日常と非日常の関係を明確にして、ベクトルをしっかりと見極める
その他	・徳島を魅力ある市にするために、市民の声を聞きながら事業を進めてほしい ・各エリアのコンテンツも大事だが、全体の運営方法や構想について1番に話し合うべきでは?

4. 3 第2回ワークショップアンケートのまとめ

1. 概要

第2回ワークショップアンケートの概要を次に示す。

アンケート調査の概要

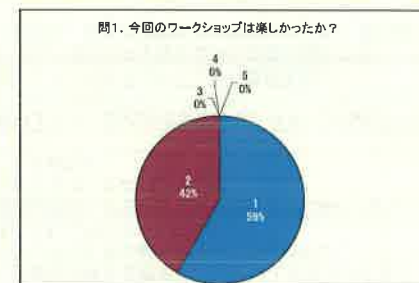
項目	内容	備考
実施日	2013年5月25日(土) ワークショップ終了後	
調査対象者	ワークショップ参加者：保護者12名・子ども14名 ワークショップ受入団体：5団体・25名	
アンケート調査項目 (保護者用)	1. 今日のワークショップは楽しかったか (択一回答) 2. ひょうたん島クルーズはどうだったか (複数選択) 3. アクア・チッタイベントは楽しかったか (択一回答) 4. 万代倉庫および万代中央ふ頭周辺で希望する活動 (記述回答) 5. 万代中央ふ頭周辺が川の駅になったら何を望むか (記述回答) 6. 両国橋たもとでの昼食はどうだったか (複数選択) 7. 両国橋たもと周辺の川の駅として望むこと (記述回答) 8. 助任橋たもとは船着き場としてどうだったか (択一回答) 9. 四国大学の学生イベントはどうだったか (択一回答) 10. 助任橋たもと周辺で希望する活動 (記述回答) 11. 助任橋たもと周辺が川の駅になったら何を望むか (記述回答) 12. 万代中央ふ頭の起点終点は どうだったか (択一回答) 13. 問12で良かったと回答した人→何が良かったか (記述回答) 14. 問12で良くなかったと回答した人→良くなかった点 (記述回答) 15. 団体が連携したWSに参加したいか (択一回答) 16. 参加費としてどのくらい支払うか (択一回答) 17. 今回のWSへの感想 (記述回答) 18. 改善が必要なところ (記述回答)	調査票参照
アンケート調査項目 (子ども用)	1. 今日は楽しかったか (択一回答) 2. 何が楽しかったか (複数選択) 3. 船に乗ってよかったところ (記述回答) 4. 川の近くでのお昼ご飯では何が美味しかったか (記述回答) 5. また参加してみたいか (択一回答) 6. 今度はどんな遊びがあったら良いか (記述回答)	調査票参照
アンケート調査項目 (協力団体用)	1. 全体の取り組みで良かったところ (記述回答) 2. 今回のWSの改善点 (記述回答) 3. 川の駅ネットワーク構想に必要なこと (記述回答) 4. 他の活動団体と連携したいか (複数選択) 5. 活動連携に必要なこと (記述回答) 6. 自分の団体が川の駅ネットワークに貢献できること (記述回答) 7. 所属団体と氏名 (記述回答)	調査票参照
配付・回収方法	ワークショップ終了後に配付・実施・回収	
回答率	100% (参加者全員回答)	

2. アンケートまとめ (保護者用)

1) 今日のワークショップは楽しかったか?

問1では、ワークショップが楽しかったかどうかについて回答を促した。

回答者12名中、とても楽しかった58% (7名)、楽しかった42% (5名)と、回答者の100%が楽しく参加できたことが伺える。



- とても楽しかった(15名)
- 楽しかった(9名)
- ふつう(0名)
- あまり楽しくなかった(0名)
- 楽しくなかった(0名)

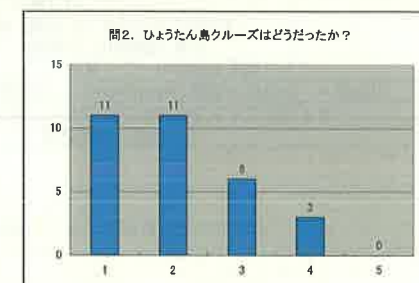
2) ひょうたん島クルーズについて

問2では、ひょうたん島クルーズについて、複数回答を促した。

川の周遊そのものが楽しかったと答えた人が12名中11名となっており、周遊船の満足度の高さが伺える。また、川から見る景色が良かったと答えた人が12名中11名となっており、川から見る景色の満足度も高いことが伺える。

今回のワークショップで試みた、とくしま観光ガイドボランティア会の協力による周遊船でのひょうたん島案内については、12名中6名が良かったと答えており、参加者の半数は満足したものとと思われる。

ひょうたん島の歴史を知ることができたと答えた人は12名中3名となっている。参加者の1/4は、案内ガイドによるひょうたん島案内に満足したことが伺える。

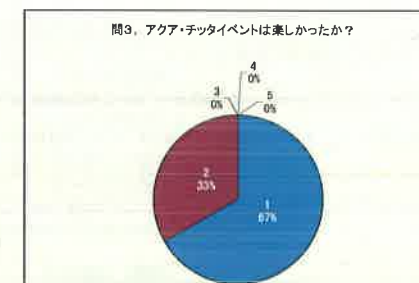


- 川の周遊が楽しかった(11名)
- 川から見る景色が良かった(11名)
- 案内ガイドさんがいるのは良かった(6名)
- ひょうたん島の歴史を知ることができた(3名)
- その他感じたこと(0名)

3) アクア・チッタのイベントは楽しかったか?

問3では、万代倉庫でのアクア・チッタのイベントが楽しかったかどうかについて回答を促した。

回答者12名中、とても楽しかった67% (8名)、楽しかった33% (4名)と、回答者の100%が楽しく参加できたことが伺える。



- とても楽しかった(8名)
- 楽しかった(4名)
- ふつう(0名)
- あまり楽しくなかった(0名)
- 楽しくなかった(0名)

4) 万代倉庫および万代中央ふ頭周辺で希望する活動

問4では、万代倉庫や万代中央ふ頭周辺で、今後、どのような活動を希望するかについて記述回答を促した。

表 1 万代倉庫および万代中央ふ頭周辺で希望する活動

キーワード	記述回答(要約)
子どもと楽しむイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・親子が参加して楽しめるイベント(3名) ・子どもとまちづくりを考えるイベント ・木工教室など子ども向けイベント ・今回のような創作教室
人の集まるイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・人の集まるイベントを提案してほしい ・景色を見ながら気軽に参加できるバーベキュー大会 ・フリーマーケットなどが良い(2名)
音楽・アート	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽イベント ・アートイベント
周辺の自然活用	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の大切さを伝えるイベント ・ウォークラリーなど周辺景観を活用したイベント ・魚釣り
倉庫活用	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫を活用した催し

5) 万代中央ふ頭周辺が川の駅になったら何を望むか

問5では、万代中央ふ頭周辺が川の駅になった場合、どのような川の駅になることを望むかについて記述回答を促した。

表 2 万代中央ふ頭周辺が川の駅になったら何を望むか

キーワード	記述回答(要約)
周辺施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設と連携した楽しめる川の駅
場の特徴を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・万代中央ふ頭でなければ体験できない何かがある川の駅 ・駐車場の活用 ・徳島駅前とこの場所をつなぐイベント ・魚が泳ぐ川の駅
産直販売	<ul style="list-style-type: none"> ・地元品の販売 ・産直品販売
ロケーションを活かした建物	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケーションを活かした建物
くつろげる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・食事やお茶ができて、のんびりくつろげる川の駅
イベント会場	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント会場
無料駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・無料駐車場があれば利用しやすい

6) 両国橋たもとでの昼食はどうだったか

問6では、両国橋たもととポンツーン(浮き棧橋)での昼食について、複数回答を促した。川沿いで気持ちよかったと答えた人が12名中12名と、全員の回答を得られた。また、浮き棧橋で食べるのが楽しかったと答えた人が12名中8名となっており、川沿いの浮き棧橋での昼食は、参加者の満足度が高いことが伺える。

メニューが良かった、味が良かったと答えた人は、12名中それぞれ5名ずつとなっている。また、量がちょうど良かったと回答した人は0人で、これは、子どもの参加により、食べる量が少なかったことから、準備した量が多く、余り物が出たことに起因するものと思われる。ピュッフェ形式の場合は、人数より少な目に準備することが望まれる。

その他の意見として、3名が記入しており、味が少し辛かった、時間が短かった、デザートと焼き魚がとても美味しかったといった意見が記載されていた。

デザートと焼き魚がとても美味しかったという意見は、メニューが良かった、味が良かったという回答に位置づけられるものであり、それを強調した好意的な意見であると伺える。

味付けについては、個人差があるため、一概に味が辛かったとは言い難い。

昼食時間は、子どもの体験活動時の危険防止対策として、子どもが飽きない時間設定としたが、保護者にとっては、川沿いで昼食をゆっくり味わいたかったという気持ちの表れで、時間が短かったという意見になったと推察する。



1. 川沿いで気持ちよかった(12名)
2. 浮き棧橋で食べるのが楽しかった(8名)
3. メニューが良かった(5名)
4. 味が良かった(5名)
5. 量がちょうど良かった(0名)
6. その他(3名)

7) 両国橋たもとと周辺の川の駅として望むこと

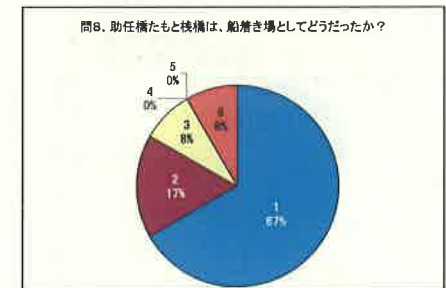
問7では、両国橋たもとと周辺が川の駅となった場合、どのような川の駅になることを望むかについて記述回答を促した。

表 3 両国橋たもとと周辺が川の駅になったら何を望むか

キーワード	記述回答(要約)
中心基地	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き発着場所として「川の駅」の中心になって欲しい ・街の川の駅
公共アクセスとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅を「交通の1つの手段」と考えるなら、川の交通の1つの拠点となる様に他の交通(公共)とのアクセスを容易に ・駅前に来たらついでに乗って帰るような、気軽な乗り場
ナイトクルーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・LEDとあわせて、夜のクルーズも楽しいかも
魚のいる川の駅	<ul style="list-style-type: none"> ・水の澄んだエイの泳ぐ楽しい川の駅
現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・今で十分と思います

8) 助任橋たもとは、船着き場としてどうだったか

問8では、助任橋たもとの船の乗降を通して、船着き場としてどうだったかについて回答を促した。改善は必要だが船着き場として良い場所であると答えた人が67%(8名)、改善は必要だが船着き場としてまあ使えると答えた人が17%(2名)となっており、改善は必要であるものの、船着き場としての利用に期待していることが伺える。

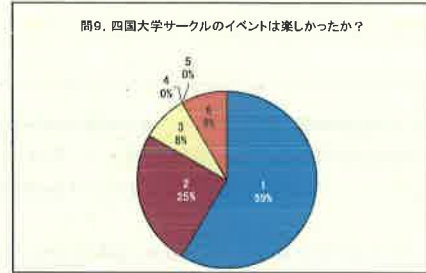


1. 改善は必要だが船着き場として良い場所(8名)
2. 改善は必要だが船着き場としてまあ使える(2名)
3. わからない(1名)
4. 改善しても船着き場には無理がある(0名)
5. 船着き場には向いていない(0名)
6. 無回答(1名)

9) 四国大学の学生イベントはどうだったか

問9では、四国大学フレンドリーキッズサークルの学生によるイベントについて楽しかったかどうかについて回答を促した。

回答者12名中、とても楽しかった59%（7名）、楽しかった25%（3名）と、回答者の84%が楽しく参加できたことが伺える。



1. とても楽しかった(7名)
2. 楽しかった(3名)
3. ふつう(1名)
4. あまり楽しなかった(0名)
5. 楽しなかった(0名)
6. 無回答(1名)

10) 助任橋たもと周辺で希望する活動

問10では、助任橋たもと周辺で、今後、どのような活動を希望するかについて記述回答を促した。

表4 助任橋たもと周辺で希望する活動

キーワード	記述回答(要約)
子どもと楽しむイベント	・子供参加型イベント ・バーベキュー
公園の活用	・ウォークラリー ・水辺の生物の観察会 ・魚釣り ・ザリガニ釣り ・城や貝塚等を用いた歴史とまちづくりを考えるイベント ・公園を用いた今回のような身体を使うイベント
音楽イベント	・音楽イベント
阿波踊り	・参加型の有名連の阿波踊り(練習でもOK)
スタンプラリー	・スタンプラリー

11) 助任橋たもと周辺が川の駅になったら何を望むか

問11では、助任橋周辺が川の駅になった場合、どのような川の駅になることを望むかについて記述回答を促した。

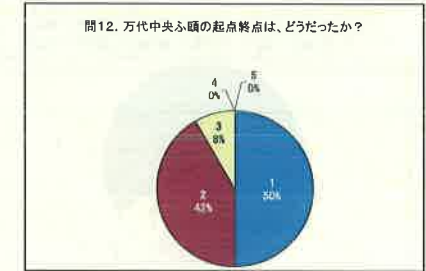
表5 助任橋周辺が川の駅になったら何を望むか

キーワード	記述回答(要約)
緑と水の川の駅	・みどり水のきれいな川の駅 ・水上、山上両方楽しめる川の駅
中央公園と連携	・公園で運動 ・スポーツウォーキング ・中央公園へのアクセスが良い
周遊船の発着場	・周遊船の発着所になって欲しい ・駅に近いので、交通便の1つとして(バスの代わりなど)
アクセス拠点	・公園や大学へのアクセスの拠点となる川の駅
くつろげる場所	・のんびりくつろげる駅
お店のある川の駅	・小さなお店があつたらいいな

12) 万代中央ふ頭の起点終点はあったか

問12では、今回のワークショップで、万代中央ふ頭を起点終点としたことがあったかについて回答を促した。

回答者12名中、とても良かった50%（6名）、良かった42%（5名）と、回答者の92%が、万代中央ふ頭の起点終点は良かったと思っていることが伺える。



2. とても良かった(6名)
3. 良かった(5名)
4. わからない(1名)
5. あまり良くなかった(0名)
6. 良くなかった(0名)

13) 問12で良かったと回答した人 → 何が良かったか

問13では、問12で、万代中央ふ頭を今回のワークショップの起点終点にして良かったと思うことについて記述回答を促した。

表6 万代中央ふ頭が起点終点で良かったと思うこと

キーワード	記述回答(要約)
駐車場があること	・駐車場があるところ(3名)
スペースがあること	・スペース的に ・広々としている ・イベントの集合場所として、スペースが活用できる
周辺景観が良いこと	・景色が良い(2名) ・海が近くなので、気持ちがいい ・川からの眺めで徳島の良さを再発見できた
交通の便がよい	・交通もok
安心できること	・イベントだけを考えると、周りに人が少なく、安心できる
日陰があること	・倉庫の日陰でゆっくりできる
その他	・皆さん親切に案内して下さい感謝です ・川の駅をするならば、他に何があるか周知する必要がある

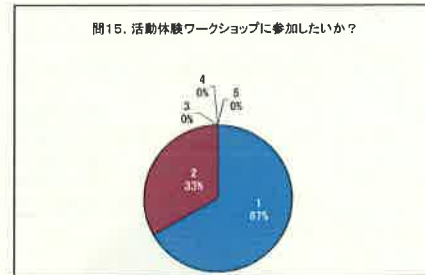
14) 問12で良くなかったと回答した人 → 何が良くなかったか

問14では、問12で、万代中央ふ頭を今回のワークショップの起点終点にして良くなかったことについて回答を促したが、良くなかったと回答した人がいなかったため、ここでは回答が得られなかった。

15) 団体が連携したWSに参加したいか

問15では、今回のワークショップのように、ひょうたん島で活動している各種団体の連携により行われる活動への参加の意向について回答を促した。

回答者12名中、是非参加したい67%（8名）、都合がつけば参加したい33%（4名）と、回答者の100%が、今後、今回のような団体等が連携した活動に参加の意向があることが伺える。

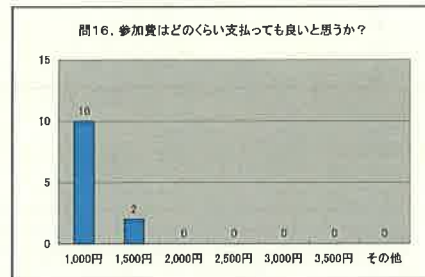


1. 是非参加したい(8名)
2. 都合がつけば参加したい(4名)
3. わからない(0名)
4. あまり参加したくない(0名)
5. 参加しない(0名)

16) 参加費としてどのくらい支払うか

問16では、問15で、参加の意向があると答えた人に、参加費について回答を促した。

回答者12名中、10名が1,000円（今回の昼食負担金と同等）、2名が1,500円（今回の昼食代相当）と、参加費については、今回の昼食代程度までの金額を望んでいることが伺える。



17) 今回のWSへの感想

問17では、今回の活動体験ワークショップへの感想等について記述回答を促した。

表7 今回の活動体験ワークショップへの感想等

キーワード	記述回答(要約)
子どもと楽しめた	<ul style="list-style-type: none"> ・1日孫と楽しく過ごせました ・子どもと制作活動ができて楽しかった ・親子で楽しく参加することができた
充実した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・盛り沢山でとても楽しかったです ・親子で参加でき、内容もとても充実していて大満足でした
ひょうたん島再発見	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズがとても気持ちよく、船から見る市内の風景の素晴らしさを再発見しました
川(水辺)を楽しむまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・川を楽しむまちづくりをもっと進めて欲しいです ・水辺で楽しめるまちづくり
スタッフの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの方々の気配りが行き届いていた ・スタッフの方がとても丁寧に対応して頂いたのが良かったです ・子供がケガをしましたが、丁寧な対応がとても嬉しかったです
改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント後に子供達から、インタビュー形式で生の言葉を聞いて欲しい ・川の駅のことについて、もっと考える時間や議論ができれば良かった
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・あとどれ位徳島に住めるのか分かりませんが、もっと知りたいし体験したいと思いました ・ありがとうございました ・お世話になりました

18) 改善が必要なおとこ

問18では、今回の活動体験ワークショップの改善点について記述回答を促した。

表8 今回の活動体験ワークショップの改善点

キーワード	記述回答(要約)
時間設定	<ul style="list-style-type: none"> ・時間をもっとゆったりとして欲しい ・1つ1つの時間が短くて、(特に食事)少し忙しかった
参加呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・参加の呼びかけを、もっと多くの人が知れるようにすることが必要ではないか
トイレ休憩	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ休憩の案内がなかったの、少しあわてました
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は集合に遅れまして、本当にご迷惑をお掛けしました ・ありがとうございました ・特になし

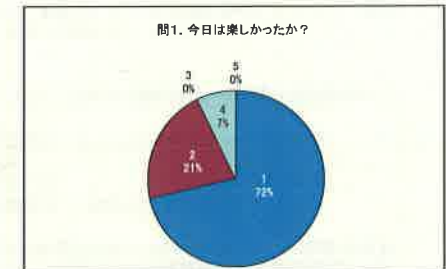
3. アンケートまとめ(子ども用)

1) 今日は楽しかったか

問1では、ワークショップが楽しかったかどうかについて回答を促した。

回答者14名中、とても楽しかった72%（10名）、楽しかった21%（3名）と、回答者の93%が楽しく参加できたことが伺える

あまり楽しくなかったと答えた子どもが1名いたが、問2において、立体作品をつくったことに○印を入れていることから、ワークショップ全てに不満を持っているのではないことが伺える。



1. とても楽しかった(10名)
2. 楽しかった(3名)
3. わからない(0名)
4. あまり楽しくなかった(1名)
5. 楽しくなかった(0名)

2) 何が楽しかったか

問2では、ワークショップの楽しかったことについて複数回答を促した。

回答者14名中、立体作品をつくったこと（協力団体：アクア・チャタ）13名、周遊船に乗ったこと（協力団体：新町川を守る会）11名、大学生のお兄さんやお姉さんと遊んだこと（協力団体：四国大学フレンドリーキッズサークル）10名、お昼ご飯（協力団体：新町川を守る会・徳島県商店街振興組合連合会青年部）8名、船で案内してもらったこと（協力団体：とくしま観光ガイドボランティア会）5名となっており、各団体によるイベントへの評価が高いことが伺える。



1. 周遊船に乗ったこと(11名)
2. 船で案内してもらったこと(5名)
3. 立体作品をつくったこと(13名)
4. お昼ご飯(8名)
5. 大学生のお兄さんやお姉さんと遊んだこと(10名)
6. お父さんやお母さんと一緒に遊べたこと(4名)
7. その他(0名)

3) 船に乗ってよかったところ

問3では、船に乗って良かったところについて記述回答を促した。

表9 船に乗ってよかったところ

キーワード	記述回答(要約)
景色が良かった	・景色が良かった ・いつも見えない景色が見えたこと ・お家が見れて良かった
船に乗ったこと	・あまり船に乗ることがないので、乗れて良かったです ・船が普通に乗るよりもゆっくりで、とっても良かった ・船の一番前に乗れたこと
風が気持ちよかった	・風が当たって気持ちよかった(2名)
波が気持ちよかった	・波が気持ちいい!!
川の中が見えたこと	・クラゲや魚が見えたこと ・クラゲが見えたところ
ひょうたん島一周	・暑かったけど、瓢箪島を船でまわったこと ・いろんな所に行けた

4) 川の近くでのお昼ご飯では何が美味しかったか

問4では、両国橋たもとポンツーン(浮き桟橋)での昼食で、美味しかったものについて記述回答を促した。

表10 お昼ご飯で美味しかったもの

キーワード	記述回答(要約)
一夜干しの魚	・魚が美味しかった(2名)
お味噌汁	・お味噌汁(4名)
徳島産材のサラダ	・フィッシュカツ ・鶏肉
飲み物	・ジュース
デザート	・イチゴのチーズケーキ(9名)

5) また参加してみたいか

問5では、今回の活動体験ワークショップのような活動があれば、来てみたいかどうかについて回答を促した。

回答者14名中、ぜったい来たい57%(8名)、来てもよい36%(5名)となっており、回答者の93%が、参加の意向があることが伺える。

あまり来たくないと回答した1人は、問1であまり楽しくなかったと回答した子どもであるが、問2では、立体作品をつくったことが楽しかった、問4では、デザートのイチゴのケーキが美味しかったと答えており、また問6では、今度来るときにどんな遊びがあればよいかとの問いに対して、魚の観察と答えるなど、あまり楽しくなかったのであまり来たくないと答えているが、プログラム次第では、参加してみたいという気持ちの表れではないかと推察される。また、この子どもは、船酔いをして午後からの参加に難色を示していた子どもであることが伺える。



- ぜったい来たい(8名)
- 来てもよい(5名)
- わからない(0名)
- あまり来たくない(1名)
- 来たくない(0名)

6) 今度はどんな遊びがあったら良いか

問6では、今度、参加するときに体験してみたい遊びについて記述回答を促した。

表11 体験してみたい遊び

キーワード	記述回答(要約)
1日単位の体験	・もっと長くて(約1日単位)もっとゲームがあったらいいなと思いました
動きのある活動	・かくれんぼ(2名) ・クイズラリー ・宝探し ・しっぽとり ・ブランコ
川を使った活動	・釣りがしたい(3名) ・漁船に乗って魚を捕りに行く体験 ・ヨットに乗る体験 ・魚の観察
作品づくり	・立体作品を作ったように、何かを作る遊び ・飛行機の模型を作りたい
中央公園での活動	・徳島公園で遊ぶ(夏は花火)
その他	・テレビゲーム(wii)

4. アンケートまとめ(協力団体用)

1) 全体の取り組みで良かったところ

問1では、今回のワークショップでの全体の取り組みで良かったところについて、記述回答を促した。

表12 今回のワークショップでの全体の取り組みで良かったところ

キーワード	記述回答(要約)
親子で川の駅体験	・天気と気温の状態に依ってほしいと思うが、親子で参加する形をとったのはいい点である ・子供を対象としたところ→小さいうちから川に興味を持ってもらえるようになる ・親子で図工作をするなど、家族の仲が深まるイベントを通して、川の駅を体験できたところ ・親子で参加できるイベントの連鎖で、1日遊べるのは良い ・子供たちの笑顔が見られて良かった
団体と連携	・様々な団体と関係が持てたこと ・水辺のまちづくりを推進する団体が、それぞれの活動を見せたところ ・各活動団体との連携
特徴発見と活動方法の検討	・第1回WSを経て、体験することで、実際の活動方法が考えられる点があったこと ・利用体験をできたこと ・ご飯を食べたり、遊べたりと各駅で特徴があったところ ・ロケーションが良く、川や海などの水辺に關した食材を提供することで、全体の雰囲気作りにつながった
プログラム構成	・クルーズとひょうたん島工作がおもしろい ・川周遊→WS→と実際のフィールドを感じながら、WSを出ることがより体験として、記憶に残ると感じた ・日常の生活では経験できない、船を使ったコンテンツを子供と親と一緒に取り組むこと ・多くのコンテンツがあって、充実していた
昼食	・桟橋での昼食(3名) ・徳島の名産が食べられて良かった。美味しかった(10名) ・魚を選んで焼きたての干物が食べられたこと(2名)
気候(開催時期)	・お天気が良くて気持ちよかった(2名) ・季節が良かった
その他	・スタッフのきめ細かいケアが、行き届いていた

2) 今回のWSの改善点

問2では、今回のワークショップの改善点について、記述回答を促した。

表 13 今回のワークショップの改善点

キーワード	記述回答(要約)
サインの設置	・サイン(看板) → 「やっていますよ」っていう感じが少ない
楽しさの演出	・クルージングの間に一度か二度下船してゲームが何かを入れて、もっと遊び、楽しさを演出してはどうか
時間	・もう少し余裕のあるタイムスケジュールだと良かった(9名)
テーマと雰囲気	・一貫したテーマと、親もテンションが上がってしまうような、イベントに欠けていた ・雰囲気作り
広報	・参加者をもっと増やし、取組みを幅広く知ってもらうこと
暑さ対策等	・雨天時や暑さ対策
マイク	・説明などが聞こえにくいところがあったので、マイクを用いると良いと思う

3) 川の駅ネットワーク構想に必要なこと

問3では、川の駅ネットワーク構想に必要なことについて、記述回答を促した。

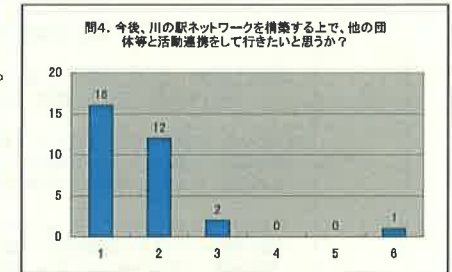
表 14 川の駅ネットワーク構想に必要なこと

キーワード	記述回答(要約)
人の集まる仕掛け	・川の駅、人の駅のように人の集まる仕掛け ・もっと利用しやすくする
継続活動	・地道でも長く続くこと ・関係する団体の継続的な取り組み
団体の連携	・各活動団体との連携が大切 ・他の団体との連携
川の駅周辺整備	・駅自体の設置場所と、設置場所近辺の楽しい設備の整備 ・乗り場周辺の駐車場、駐輪場 ・乗降の安全・安心のための整備 ・船を利用するための休憩場所が必要 ・各駅ごとに広く市民が楽しめるものを考えた整備が必要
安全な乗降	・お客様だけで安全に乗り降り出来るような設備 ・安心、安全に乗降できることが大切
川との関わりを提供	・いつでも乗降できる棧橋の設置をし、川との係わりを提供していく事が必要
川をきれいに	・川をきれいにする
予算確保	・ハード整備に必要な予算の確保
運営主体と運営のための施設	・各駅の運営主体とハコモノの設置 ・駅に管理する人が必要
市民の気運	・市民の気運の盛り上がり ・オリンピック招致のように、皆の盛り上がりが出来れば良いと思う
広報	・いろんな人に乗ってもらえる様に広報すること ・広報活動を積極的に行っていくこと ・川の駅をもっと知ってもらう
常設化に向けた仕組み	・定期的に開催して、常設化出来る仕組み作りが必要 ・楽しめるコンテンツを持った駅が増えていく事が大事 ・定期的なイベント開催や情報開示 ・ツアー性や、アミューズメント性が必要
時間が必要	・たくさんの時間が必要だと思います

4) 他の活動団体と連携したいか

問4では、川の駅ネットワークを構築する上で、他の団体と活動連携したいかどうかについて、複数回答を促した。

回答者25名中、無回答1名を除いて、24名中の16名が多く他の団体と活動連携したい、12名がテーマに沿って活動連携したい、2名が条件等を整理した上で連携したいと答えており、無回答の1名以外は、何らかの形で、他の団体と活動連携したいと思っていることが伺える。



1. 多くの団体と活動連携したい(16名)
2. テーマに沿って活動連携したい(12名)
3. 条件等を整理した上で連携したい(2名)
4. 活動連携はあまり必要だと思っていない(0名)
5. その他(0名)
6. 無回答(1名)

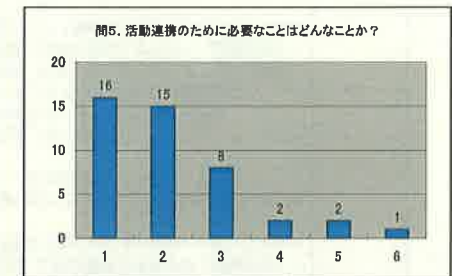
5) 活動連携に必要なこと

問5では、問4で活動連携したいと答えた人に、活動連携に必要なことについて、複数回答を促した。

回答者25名中、無回答の1名を除いて、24名中の16名が団体等の活動内容の共有、15名が活動連携するための場づくり、8名が調整機能を持った組織、2名が活動連携のための団体等の調査・募集が必要であると答えている。

また、その他意見として、「情報整理とその共有」、「目的等目指す指針の共通認識」といった回答があった。

これらより、各団体の活動内容や各団体の持つ情報を整理し、各団体が一同に会して、川の駅を目指す方向の検討を行い、それを全体で共通認識することが必要とされていることが伺える。



1. 団体等の活動内容の共有(16名)
2. 活動連携するための場づくり(15名)
3. 調整機能を持った組織(8名)
4. 活動連携のための団体等の調査・募集(2名)
5. その他(2名)
6. 無回答(1名)

6) 自分の団体が川の駅ネットワークに貢献できること

問6では、今回のワークショップに協力いただいた団体が、今後、川の駅ネットワークに貢献できることについて記述回答を促した。

表 15 川の駅ネットワークに貢献できること

キーワード	記述回答(要約)
船の運航	・船の運航
ガイドボランティア	・観光ガイド団体なので、この視点からの貢献は大いにできると思われる ・ガイドボランティアとして、川の駅を拠点とした案内もできると思う ・ガイドをすることにより、川やその地域に興味を持ってもらう
川の駅の検討	・一緒に川の駅について考えていくこと
環境整備	・環境整備(ゴミ排除) ・万代中央ふ頭における川の駅設置に向けた環境づくり
情報発信	・ホームページ等による、情報紹介 ・市民への周知
港湾施設の調整	・港湾施設を利用する際の調整
活動団体との調整	・万代での活動団体との調整
施設整備	・将来的(イメージや計画が決定した後)にベンチや休憩場所(屋根付き)の設置 ・教室や講座の開催により、連携ポイントへの参加
講座やWS等の開催	・いつ来ても何かやっている、というのが理想ですが、WSを中心とした体験できる内容
団体活動の場づくり	・水辺のまちづくりを行う団体の活動の場づくり
子どもや親子の交流の場づくり	・子どもと交流や楽しませること(7名) ・親子で楽しめる遊び(2名)
ボランティア	・必要に応じたボランティア活動(4名)
清掃	・掃除をしてきれいにする
二次的つながり	・二次的つながり → 商店街への集客もかねる

7) 所属団体と氏名

問7では、今後、川の駅ネットワークの構築において、協力いただける場合について、所属団体名と個人名について、記述回答を促した。

アンケート回答者25名全員の所属団体と氏名を記載いただいた。

ここでは個人名は、記載しないが、アンケート回答の団体名と人数を次に示す。

表 16 川の駅ネットワークに協力いただける団体名とその人数

アンケート回答の団体名	回答者の人数
NPO法人新町川を守る会	2名
とくしま観光ガイドボランティア会	3名
万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会	4名
NPO法人アクア・チャッタ	3名
徳島市市民活力開発センター	1名
四国大学フレンドリーキッズサークル	11名
徳島県商店街振興組合連合会青年部	1名

4. 4 第3回ワークショップアンケートのまとめ

1. 概要

第3回ワークショップアンケート調査の概要を次に示す。

アンケート調査の概要

項目	内容	備考
実施日	2013年10月26日(土)・10月27日(日)	
調査対象者	① 3エリアにて参加者アンケートを実施 →新町・両国エリア、助任橋周辺エリア、万代中央ふ頭エリアにて、徳島ひょうたん島博覧会参加者を対象としたアンケート調査を行った ② 徳島ひょうたん島博覧会参加者アンケートを実施 →徳島ひょうたん島博覧会に参加した協力団体を対象としたアンケート調査を行った ③ アンケート部隊アンケートを実施 →直接アンケート調査を行ったアンケート部隊(大学生)にも、アンケート調査を行った	
アンケート調査項目	【徳島ひょうたん島博覧会参加者用】 属性：性別・年代・住まい・交通手段・催しを知ったきっかけ(択一回答) 問1. ひょうたん島周辺には、どのくらい来られていますか？(択一回答) 問2. ひょうたん島周辺には、どんな目的で来られていますか？(複数回答) 問3. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」を知っていましたか？(択一回答)、 問4. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」に何を期待しますか？(複数回答) 問5. ひょうたん島川の駅およびその周辺にどのようなものがあれば良いと思いますか？(複数回答) 問6. 徳島ひょうたん島博覧会で参加した催しの中で、楽しかったもの、または、楽しみにしてきたものを教えてください(記述回答) 【徳島ひょうたん島博覧会協力団体用】 属性：団体名・性別・年代・住まい・交通手段(択一回答) 問1. ひょうたん島周辺には、どのくらい来られていますか？(択一回答) 問2. ひょうたん島周辺には、どんな目的で来られていますか？(複数回答) 問3. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」を知っていましたか？(択一回答) 問4. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」に何を期待しますか？(複数回答) 問5. 川の駅浸透地の中で、特にハード整備及びソフト施策等が望まれる場所を1つ選んでください(択一回答) 問6. 問5で選んだ川の駅に望まれるハード整備及びソフト施策等を具体的に記入ください(記述回答) 問7. ひょうたん島川の駅およびその周辺にどのようなものがあれば良いと思いますか？(複数回答) 問8. ひょうたん島川の駅周辺でどのような活動をしてみたいですか？(記述回答) 問9. 徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の感想はいかがでしたか？(記述回答) 【アンケート部隊用】 属性：団体名・性別・年代・住まい・交通手段(択一回答) 問1. ひょうたん島周辺には、どのくらい来られていますか？(択一回答) 問2. ひょうたん島周辺には、どんな目的で来られていますか？(複数回答) 問3. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」を知っていましたか？(択一回答) 問4. 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」に何を期待しますか？(複数回答) 問5. ひょうたん島川の駅およびその周辺にどのようなものがあれば良いと思いますか？(複数回答) 問6. ひょうたん島川の駅周辺でどのような活動をしてみたいですか？(記述回答) 問7. 徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の感想はいかがでしたか？(記述回答) 問8. 徳島ひょうたん島博覧会でイベント等を行った協力団体の感想はいかがでしたか？(記述回答)	調査票参照
アンケート回答者数/配付数(回収率)	徳島ひょうたん島博覧会参加者：950名/950名(現地で回収・回収率100%) 徳島ひょうたん島博覧会協力団体：12団体(42名)/20団体(80名)(郵送にて回収・回収率53%) アンケート部隊：18名/18名(現地で回収・回収率100%)	

2. アンケートまとめ (徳島ひょうたん島博覧会参加者用)

1) 回答者の属性

問いの前に、回答者の属性について回答を促した。

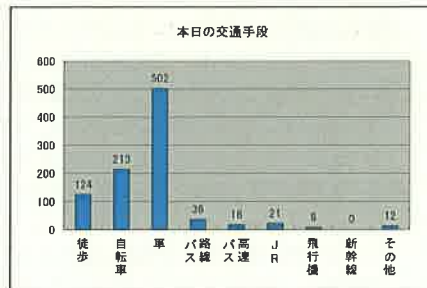
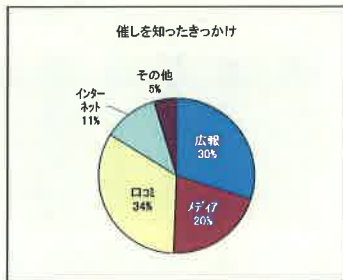
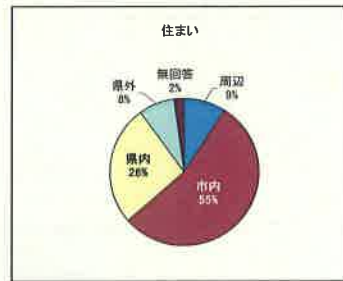
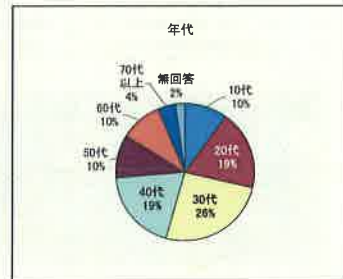
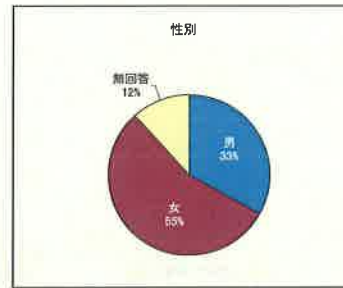
回答者の性別は、回答者 950 名のうち、男性が 33%(315 名)、女性が 55%(523 名)、無回答 12%(112 名)で、女性の回答者が半数以上を占めている。

回答者の年代は、30 代が 26%(244 名)、次いで 40 代が約 19%(184 名)、20 代が約 19%(176 名)、50 代が約 10%(97 名)、10 代が約 10%(96 名)、60 代が約 10%(92 名)となっており、回答者の各年代はほぼ均等であることが伺える。また、70 代以上が 4%(40 名)とパーセンテージは低いものの、回答者数は 40 名であることや、無回答 2%(21 名)の大半は、10 代以下の子どもからの回答であることから、広い年代層からの意見収集ができたアンケート調査であることが伺える。

回答者の住まいは、徳島市内から参加した人が 55%(516 名)と半数を越えている。次いで徳島市以外の徳島県内から参加した人が 26%(251 名)、ひょうたん島周辺から参加した人が 9%(87 名)となっており、徳島県内の参加者が 9 割を占めている。

回答者の交通手段としては、車と回答した人が大半で、次いで自転車、徒歩となっている。高速バスおよび飛行機と回答した人は県外からの参加者であることが伺える。

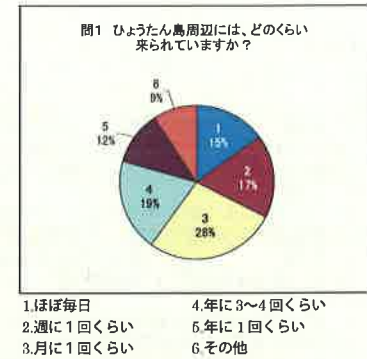
回答者が今回の催しを知ったきっかけは、口コミが一番多く、次いで徳島市広報、新聞や TV、ラジオ等のメディアと続いている。



2) ひょうたん島周辺への訪問頻度

問 1 では、ひょうたん島周辺への訪問頻度について回答を促した。

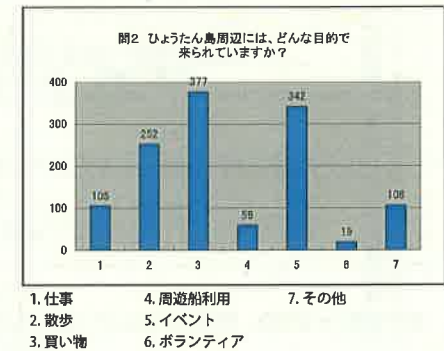
月に 1 回くらいと回答した人が 28%(名)で、年に 3~4 回くらいと回答した人が 19%(名)、週に 1 回くらいと回答した人が 17%(名)、ほぼ毎日と回答した人が 15%(名)、年に 1 回くらいと回答した人が 12%(名)となっている。また、その他で回答した人の中で、初めて来た、ほとんど来ないと回答した人が 45 人で、それ以外の人は、週に 2~3 回、月に 2 回くらいと記入した人が多く、その他 9%(86 名)のうちの 4%程度は、月 1 回以上来ていることになる。それから見ると、月 1 回以上、ひょうたん島周辺へ来ている人が回答者の 64%を占めていることになる。



3) ひょうたん島周辺への訪問目的について

問 2 では、ひょうたん島周辺への訪問の目的について、複数回答を促した。

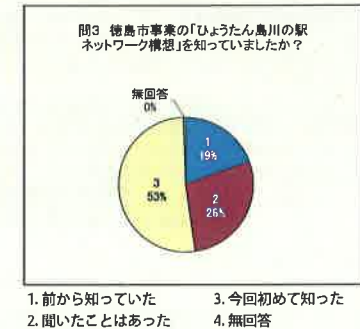
買い物と回答した人が 377 名、次いでイベントと回答した人が 342 名、散歩と回答した人が 252 名となっている。また、その他では、観光、阿波おどり、遊び、飲食、通学や習い事、送迎といった項目が記載されていた。



4) ひょうたん島川の駅ネットワーク構想を知っていたか?

問 3 では、ひょうたん島川の駅ネットワーク構想について知っていたかどうかについて回答を促した。

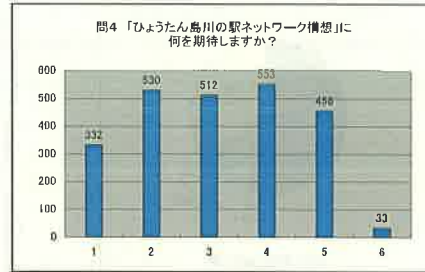
前から知っていたと回答した人 19%(185 名)、聞いたことはあったと回答した人 28%(270 名)と、回答者の 47%の人は、何らかの形で川の駅ネットワーク構想を知っていたということが伺える。また、今回のアンケート調査により、今回初めて知ったと回答した人 53%(491 名)に無回答 4 名(子ども)を加えて、495 名の回答者に、ひょうたん島川の駅ネットワーク構想についての情報を発信することができた。



5) ひょうたん島川の駅ネットワークに期待すること

問4では、ひょうたん島川の駅ネットワークに期待することについて複数回答を促した。項目の選択は3つまでとした。

川沿いのお店が増えることと回答した人 553名、様々なイベントや活動に参加しやすくなることと回答した人 530名、ひょうたん島周辺が賑わうことと回答した人 512名と、回答者 950名のうち半数以上が特にこの3項目へ期待していることが伺える。次いで、川沿いがきれいに整備されることと回答した人 456名、周遊船乗り場が増えることと回答した人 332名と、選択項目のいずれも多くの期待が寄せられている。また、その他の意見として、船の便数が増えること、観光客が増えることなどが記載されており、全般的に、川の駅ネットワークの確立により、ひょうたん島周辺が多くの人で賑わう場所になることへの期待が伺える。



1. 周遊船乗り場が増えること
2. 様々なイベントや活動に参加しやすくなること
3. ひょうたん島周辺が賑わうこと
4. 川沿いのお店が増えること
5. 川沿いがきれいに整備される
6. その他

6) ひょうたん島川の駅およびその周辺にあれば良いと思うもの

問5では、ひょうたん島川の駅およびその周辺にどのようなものがあれば良いかについて複数回答を促した。

項目の選択は5つまでとした。

おしゃれなカフェやレストランと回答した人 706名、トイレや手洗い施設と回答した人 655名、いつきても楽しめるイベントと回答した人 522名、ベンチなどの休憩施設 513名と、回答者 950名のうち半数以上が特にこの4項目を必要としていることが伺える。次いで、イベント情報などがわかる仕組み 377名、川遊び等のスポーツショップ 325名、船の待合い場所 255名となっている。また、その他として、駐車場整備や周遊できる遊歩道整備、公園整備などが必要との意見が得られた。

これらの意見は、問4のひょうたん島川の駅ネットワークに期待することと連動しており、ひょうたん島周辺が多くの人で賑わうための川の駅にふさわしいハード整備やソフト整備の充実を必要としていることが伺える。



1. トイレや手洗い施設
2. ベンチなどの休憩施設
3. 船の待合い場所
4. 川の駅インフォメーション
5. 駅長さんと駅長室
6. 誰でも使えるギャラリーや会議室
7. おしゃれなカフェやレストラン
8. 川遊び等のスポーツショップ
9. 放送局のサテライトスタジオ
10. イベント情報などがわかる仕組み
11. いつ来ても楽しめるイベント
12. その他

7) 徳島ひょうたん島博覧会で楽しかったもの

問6では、徳島ひょうたん島博覧会の催しの中で楽しかったもの、または、楽しみにしてきたものについて、記述回答を促した。まとめで次に示す。

表1 徳島ひょうたん島博覧会の催しの中で楽しかったもの、楽しみにしてきたもの

催しの名称	記述回答の要約 (回答数)
ご当地グルメフェスタ	ご当地グルメフェスタ(132)・ビール(2)・焼きそば(1)・食のイベント(7)・グルメ(4)・しまん豚(1)・徳島のグルメ(3)・徳島ラーメン(1)・B級グルメ(1)・食べ物の屋台(2)・徳島バーガー(1)・いろんなものが食べられた(1)・明石焼き(1)・食事(2)・たご焼き(1)・うまいもの市(1)・八千代ラーメン(1)・コンスープ(1) 計163
ハンドメイドマーケット	ハンドメイドマーケット(60)・フリーマーケット(10)・ペイペードールズ(1)・アクアチッタ(7)・手作りのものを見る(1)・ワークショップ(3)・スイーツデコのBOXづくり(2)・丁子さんの消しゴムはんこ(1)・つまみ細工の体験教室(1)・とんぼ玉体験(1)・JICAブース(1)・作家さんの商品(1)・マグネットづくり(1)・ギャラリー(1) 計91
ひょうたん島クルーズ	ひょうたん島クルーズ(23)・クルージング(9)・周遊船(13) 計45
とくしまマルシェ	とくしまマルシェ(37)・野菜を使ってつくるドレッシング(1)・椎茸袋詰め(1)・出店が多くて良かった(1) 計40
ゆるキャラ	ゆるキャラ(5)・きぐるみ(1)・ちっちゃいおっさん(8)・ゆるキャラ相撲大会(3)・すだちくん(1)・トクシー(2) 計20
水上パレード	水上パレード(17) 計17
スタンプラリー	スタンプラリー(11) 計11
千山丸の進水式	千山丸の進水式(3)・千山丸(2)・歴史的(1)・ダンボールの船(3) 計9
子ども向けイベント	子ども向けイベント(4)・マベル(1)・ヒーローショー(2) 計7
LED	LED(7) 計7
音楽ライブ	坂東道生ライブ(2)・金管バンドの演奏(2)・新町小学校金管バンド(1) 計5
カヤック体験	カヤック体験(4) 計4
ミニ紙船づくり工作	紙で船をつくる(4) 計4
川の駅あったらいいね	川の駅あったらいいね(1)・定期的に船がバスのように使えたら良いと思う(1)・ストリートファニチャー(1)・船乗り場(1) 計4
ダンボール船レース	中止になったボートレース(1)・ダンボール船レース(3) 計4
花いっぱいプロジェクト	花いっぱいプロジェクト(1) 計1
フィッシング大会	フィッシング大会(1) 計1
懐かしのヒーロー展	懐かしのヒーロー展(1) 計1
イベント全般	イベント(4) 計4
特になし	特になし(11) 計11
その他(良かったこと)	全般に楽しかった(5)・まあまあ良かった(1)・子どもも楽しめた(1)・いろいろなワークショップと美味しいものがあって良かった(1)・駅に近くところで開催したこと(1)・ゴミの分別が良かった(1)・お天気が回復して良かった(1)・人が賑わうこと(1)・景色(1)・ひよこりひょうたん島の面影を楽しむ(1)・徳島の良さを再確認した(1) 計15
その他(課題)	もっと全国のものを紹介してほしい(1)・通行幅が狭い(店が多すぎる)(1)・音楽がない(1)・車椅子でも船に乗れるようにしてほしい(1) 計4
その他(激励)	初めて参加したが、これからも楽しみである(1)・誰でも参加しやすい情報手段があればまた参加したい(2)・頑張ってください(3)・応援しています(1)・今度は子どもを連れて来たい(1) 計8
その他	今から楽しむ(5)・知らなかった(2)・何をしているのか興味があって来た(1)・お菓子(1)・ハロウィン(1)・マチアソビ(1)・おもちゃ博覧会(1)・FM眉山(1)・たまたま金曜日のステッカー(1)・いろんなお店(1) 計15

3. アンケートまとめ（徳島ひょうたん島博覧会協力団体用）

1) 回答者の属性

問いの前に、回答者の属性について回答を促した。

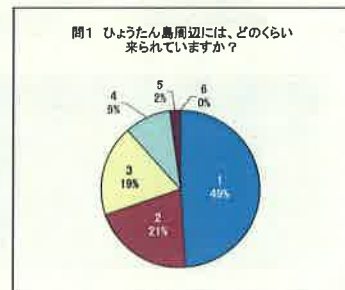
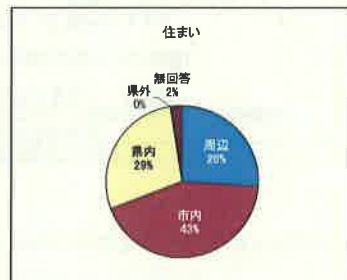
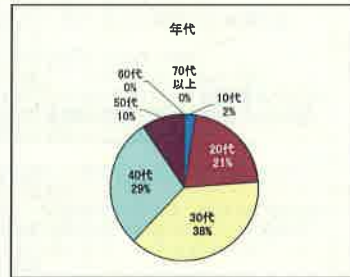
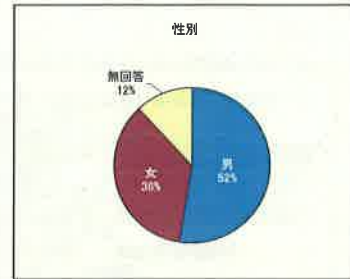
回答者の性別は、回答者 42 名のうち、男性が 52% (22 名)、女性が 36% (13 名)、無回答 12% (5 名) で、男性の回答者が半数以上を占めている。

回答者の年代は、30 代が 38% (16 名)、40 代が 29% (12 名)、20 代が 21% (9 名)、50 代が 10% (4 名)、10 代が 2% (1 名) となっており、60 代以上の回答者はいない。

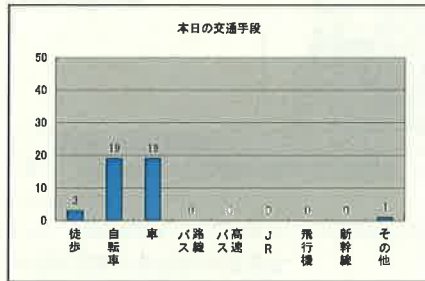
今回の催しの協力団体におけるアンケート調査の回答者は、比較的若い層となっている。

回答者の住まいは、徳島市内と回答した人 43% (18 名)、ひょうたん島周辺と回答した人 26% (11 名)、徳島市以外の徳島県内と回答した人 29% (12 名) となっており、無回答の 2% (1 名) を除いて、全て徳島県内から参加していることが伺える。

回答者の交通手段としては、自転車と回答した人が 19 名、車と回答した人が 19 名、徒歩と回答した人が 3 名となっており、ひょうたん島周辺や徳島市内からの参加者は主に徒歩と自転車に参加したことが伺える。



1. ほぼ毎日
2. 週に1回くらい
3. 月に1回くらい
4. 年に3~4回くらい
5. 年に1回くらい
6. その他



2) ひょうたん島周辺への訪問頻度

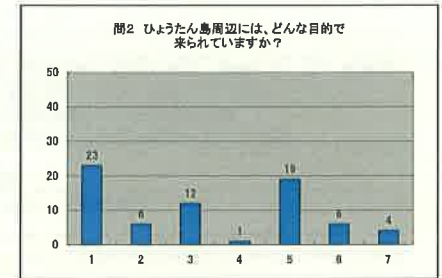
問1では、ひょうたん島周辺への訪問頻度について回答を促した。

ほぼ毎日と回答した人が 49% (21 名)、週に 1 回くらいと回答した人が 21% (9 名)、月に 1 回くらいと回答した人が 9% (4 名)、年に 3~4 回くらいと回答した人が 2% (1 名) となっており、少なくとも週 1 回以上は、ひょうたん島周辺に来ている人が回答者の 7 割を占めている。

3) ひょうたん島周辺への訪問目的について

問2では、ひょうたん島周辺への訪問の目的について、複数回答を促した。

仕事と回答した人が 23 名、次いでイベントと回答した人が 19 名、買い物と回答した人が 12 名、散歩と回答した人が 6 名、ボランティアと回答した人が 6 名となっている。また、その他では、食事と記載した人が 2 名、居住している人が 2 名となっている。

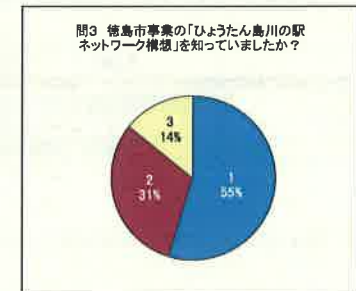


1. 仕事
2. 散歩
3. 買い物
4. 周遊船利用
5. イベント
6. ボランティア
7. その他

4) ひょうたん島川の駅ネットワーク構想を知っていたか?

問3では、ひょうたん島川の駅ネットワーク構想について知っていたかどうかについて回答を促した。

前から知っていたと回答した人 51% (23 名)、聞いたことはあったと回答した人 35% (13 名) と、回答者の 86% の人は、何らかの形で川の駅ネットワーク構想を知っていたということが伺える。また、今回のアンケート調査により、今回初めて知ったと回答した人 14% (6 名) に、ひょうたん島川の駅ネットワーク構想についての情報を発信することができた。



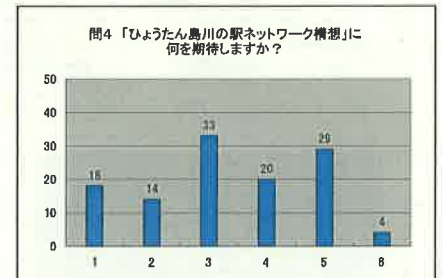
1. 前から知っていた
2. 聞いたことはあった
3. 今回初めて知った

5) ひょうたん島川の駅ネットワークに期待すること

問4では、ひょうたん島川の駅ネットワークに期待することについて複数回答を促した。項目の選択は3つまでとした。

ひょうたん島周辺が賑わうことと回答した人 33 名、川沿いがきれいに整備されることと回答した人 29 名と、回答者 42 名のうち半数以上が特にこの2項目へ期待していることが伺える。次いで、川沿いのお店が増えることと回答した人 20 名、周遊船乗り場が増えることと回答した人 18 名、様々なイベントや活動に参加しやすくなることと回答した人 14 名となっている。

ここでは、一般参加者に多かったお店やイベントへの期待よりも、活動団体として、ひょうたん島周辺の賑わいやそれに伴う整備に対する期待が大きいのことが伺える。

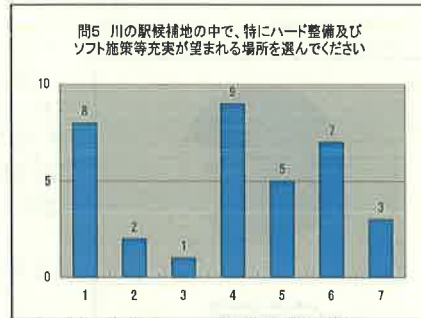


1. 周遊船乗り場が増えること
2. 様々なイベントや活動に参加しやすくなること
3. ひょうたん島周辺が賑わうこと
4. 川沿いの店が増えること
5. 川沿いがきれいに整備される
6. その他

6) 今後、川の駅としての整備等が望まれる場所

問5では、今後、川の駅としての整備等が望まれる場所について回答を促した。

助任橋もとと棧橋と回答した人が9名、新町橋河畔棧橋と回答した人が8名となっており、回答者が、ひょうたん島の北と南に位置する川の駅の整備に関心があることが伺える。次いで、万代中央ふ頭棧橋7名、徳島文化公園前棧橋5名、新町川水際公園ボートハウス前棧橋3名、あわぎんホール前棧橋2名、文学書道館寂聴橋1名となっている。



1. 新町橋河畔棧橋
2. あわぎんホール前棧橋
3. 文学書道館寂聴橋
4. 助任橋もとと棧橋
5. 徳島文化公園前棧橋
6. 万代中央ふ頭棧橋
7. 新町川水際公園ボートハウス前棧橋

7) 川の駅に望まれる具体的な整備等

問6では、問5で記入した川の駅として整備等が望まれる場所の具体的な整備等について記述回答を促した。まとめを次に示す。

表2 整備が望まれる場所の具体的な整備等

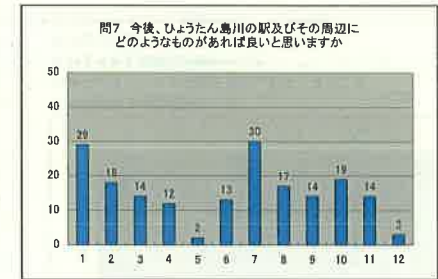
整備が望まれる場所	具体的な整備等(人数)
新町橋河畔棧橋	<ul style="list-style-type: none"> ・ボードウォークや水際公園の木々の手入れ ・ヨーロッパのような、旗をつけたりして明るい感じに ・もっと一般的に川と接することのできるハード整備 →オープンデッキガーデン: 壁面緑化されたファサード(建物の正面をなす外観) カヌー・カヤックの発着場 カヌー、カヤックなどのアウトドア専門ショップ 県内のアウトドアツアーガイド *川を眺めながらゆっくりとした時間を過ごす施設がない ・ソフト事業 → 定期的な釣り大会 定期的なカヌースクール/ツーリング/フィッシングカヤック 新町川でないと楽しめない「事」を充実させるのがキーワードになる ・イベントやミニコンサート等でもっと活用されるよう、もう少し華やかに「整備」してほしい
あわぎんホール前棧橋	<ul style="list-style-type: none"> ・新町橋に近いのに急に寂しい雰囲気になるのでそこをなんとかしたい ・乗り場の整備 ・駅員の配置
文学書道館寂聴橋	<ul style="list-style-type: none"> ・学校も近く、子供や年配者が集まれるオープンスペース
助任橋もとと棧橋	<ul style="list-style-type: none"> ・空調施設のある休憩 ・利用者の駐車場整備 ・人が常駐できる設備 ・人通りも程よく有り、国道からも分かりやすいので、人を誘導する仕掛けが必要だと思う ・屋根付きの駅と、コミュニティスペース ・まず船から見て何をしているのかわからないのはつらい ・川から見て分かるようなイベントを ・周遊船の時刻表及び本日運航されているかどうか確認できる表示灯 ・周辺マップ・釣り堀・レンタルカヤック・カヌー ・飲食店 ・自転車が預けられと助かる ・周遊船の発着
徳島文化公園前棧橋	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯を増やす ・公園を明るくする ・川の駅 ・イベント等がない時も開放としない空気 ・駐車場を増やす ・何かやっていないと人気無いイメージがある
万代中央ふ頭棧橋	<ul style="list-style-type: none"> ・問8で記入した内容ができるようになれば、活性化するかもしれない ・ふ頭棧橋の場所のPRと万代のにぎわいを増やすこと ・トイレ(3) ・駐車場(3) ・棧橋(2) ・待合場所(2) ・カフェ&土産や産直コーナー ・岸壁の整備 ・水上交通を使って目的地にしたいと思える美観の整備
新町川水際公園ボートハウス前棧橋	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも立ち寄れるように、ある程度の広さの確保 ・お金をかけた意味のある場所になって欲しい ・川の駅が必要とは思えない→一般に川遊びが楽しめる様にしてほしい ・飲食店の充実
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅を整備しても途中で乗下船する人が増加するとは思えない。川の駅を整備する目的とは・・・?

8) ひょうたん島川の駅およびその周辺にあれば良いと思うもの

問7では、ひょうたん島川の駅およびその周辺にどのようなものがあれば良いかについて複数回答を促した。項目の選択は5つまでとした。

おしゃれなカフェやレストランと回答した人30名、トイレや手洗い施設と回答した人29名と、回答者42名のうち半数以上がこの2項目を必要していることが伺える。次いで、イベント情報などがわかる仕組み19名、ベンチなどの休憩施設18名、川遊び等のスポーツショップ17名、となっており、ここで特徴的なのは、一般参加者より、協力団体の方が、イベント情報がわかる仕組みを上位に選択していることである。

これらの意見は、問4~6の回答と連動しており、ひょうたん島川の駅として必要なハード整備に加え、川の駅の有効活用を考えたソフト整備の充実を必要としていることが伺える。



1. トイレや手洗い施設
2. ベンチなどの休憩施設
3. 船の待合場所
4. 川の駅インフォメーション
5. 駅長さんと駅室
6. 誰でも使えるギャラリーや会議室
7. おしゃれなカフェやレストラン
8. 川遊び等のスポーツショップ
9. 放送局のサテライトスタジオ
10. イベント情報などがわかる仕組み
11. いつ来ても楽しめるイベント
12. その他

9) ひょうたん島周辺でどのような活動がしたいか?

問8では、ひょうたん島周辺でどのような活動がしたいかについて記述回答を促した。まとめを次に示す。

表3 ひょうたん島周辺でしたい活動

キーワード	記述回答の要約(回答数)
イベント・祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント ・ふらっと立ち寄れるミニイベント ・川を軸にロケーションを活用したイベント及び事業を行う ・助任橋はイベントがなさ過ぎてつらいので、イベント(子供参加など)をすると船から降りる人は増えるかもしれない ・お祭り
健康・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や自転車などで身体を動かしたい ・カヤックやカヌーのツーリング
ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の現在と江戸時代の街の様子を地図などで示すパネルなどの展示 ・絵画展 ・写真展 ・常設のアート作品の展示
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・青空の下で物作り、手作りワークショップなど
フリーマーケット	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーマーケット(2)
ライブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブ活動
釣り	<ul style="list-style-type: none"> ・釣り・ハゼ釣り
マルシェ	<ul style="list-style-type: none"> ・マルシェ
ガイド案内	<ul style="list-style-type: none"> ・遊覧船でのガイド案内
定期船と駅の増設	<ul style="list-style-type: none"> ・定期船及び駅の増設
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集い、地域情報を発信したい ・情報発信
整備の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・両国橋もとの公園整備の提案 ・川の駅の提案
地域性ある活動	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県を全国へ知ってもらえる様な活気ある地域色を出した活動 ・ただの駅としての機能で終わらない場所とするための活動
継続的な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に提供できるコンテンツを用意していつも楽しめる場所にしたい
環境と人の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・観光重視の遊覧船として発展するために、観光できる「環境」と「人」の育成
万代中央ふ頭の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・万代中央ふ頭を盛り上げたい

10) 徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の感触は？

問9では、今回の徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の博覧会への感触について記述回答を促した。まとめを次に示す。

表4 徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の感触

キーワード	記述回答の要約 (回答数)
楽しそうだった・好評	・みんな楽しそうだった(4) ・いい感じだった ・良かった(2)
川の良さ再発見	・これだけ川に囲まれている徳島市なのに今まで川に親しんでこなかった。だから今回楽しませている様子が新鮮だった
パレードが良かった	・カヌーやパレードはにぎわいもあり良かった ・パレードが良かった ・水上パレードが良かった。もっと事前に周知して、陸から手を振るなど注目されるように仕掛けるべき(ひょうたん島1周に人が集まり、外周をつなげる(昔あったJR九周のCMのようなイメージ))
船の運航が良かった	・新町川を守る会さんや各駅の団体さんの運営がよく、船に乗船される方から特に不満の声もあがらず、スムーズに乗降されていた ・イベントの乗り物としては好評だったように感じた ・イベントを川で渡り歩けるのが楽しかったようである ・遊覧船の可能性を感じていた→水辺の街づくりに踏み込んでいける
食のイベントが良かった	・食べ物がおいしかったようだった
パラソルショップが良かった	・パラソルショップがおもしろそうだった
川の駅の常設	・川の駅を常設してほしいと感じていた
立ち寄り	・助任橋周辺は、ふらっと立ち寄ってみたような人がほとんどだった
普通レベル	・「数あるイベントの内の1つ」のレベル
物足りない	・周辺イベントが活発だったが、「川」を活かしたイベント自体には台風を差し引いても、物足りなさがあった
参加の呼びかけ	・誰もが参加できる博覧会へ
開催時期	・川で遊ぶなら夏に開催を
船の運行回数 (増便希望)	・船の運行回数が少ないとの声を聞いた
わからない	・よくわからない ・「何のイベントが分からない」という言葉をよく聞いた
その他	・川の駅が日常的に使われるようにするにはハードルが多いというイメージを持っている人がいた

4. アンケートまとめ (アンケート部隊用)

1) 回答者の属性

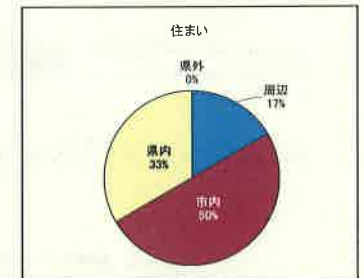
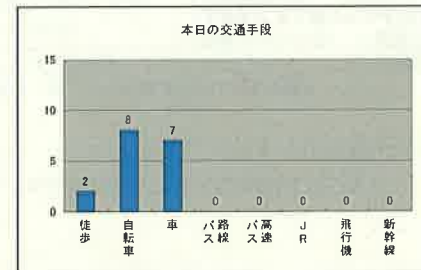
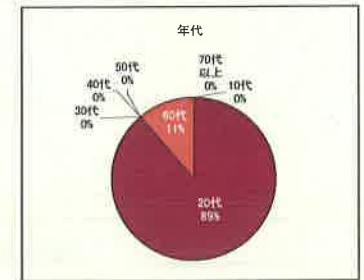
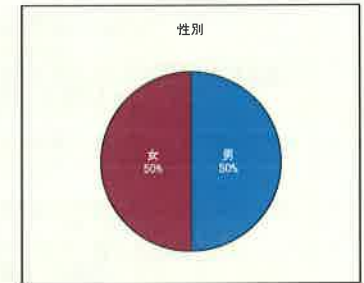
問いの前に、回答者の属性について回答を促した。

回答者の性別は、回答者 18名のうち、男性が50%(9名)、女性が50%(9名)で、同等数であった。

回答者の年代は、20代が89%(16名)、60代が11%(2名)となり、アンケート部隊はほとんどが20代の大学生であった。60代は徳島県建築士会セピアの支援によるものである。

回答者の住まいは、徳島市内が50%(9名)、徳島市以外の徳島県が33%(6名)、ひょうたん島周辺が17%(3名)となっている。

回答者の交通手段としては、自転車、車、徒歩の順となっている。

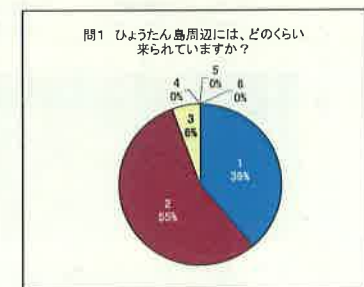


2) ひょうたん島周辺への訪問頻度

問1では、ひょうたん島周辺への訪問頻度について回答を促した。

ほぼ毎日と回答した人が39%(7名)、週に1回くらいと回答した人が55%(9名)、月に1回くらいと回答した人が6%(2名)となり、少なくとも週1回以上は、ひょうたん島周辺に来ている人が回答者の9割以上を占めている。

これにより、今回のアンケート部隊は、ひょうたん島周辺をよく知っている人により構成されたことが伺える。



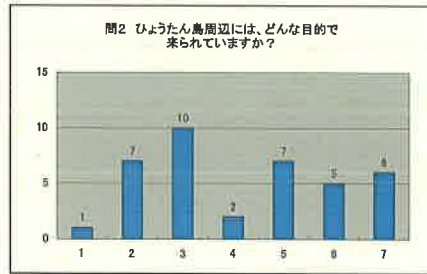
- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に1回くらい
- 3. 月に1回くらい
- 4. 年に3~4回くらい
- 5. 年に1回くらい
- 6. その他

3) ひょうたん島周辺への訪問目的について

問2では、ひょうたん島周辺への訪問の目的について、複数回答を促した。

買い物と回答した人が10名、次いでイベントと回答した人が7名、散歩と回答した人が7名、ボランティアと回答した人が5名となっている。

また、その他では、通学が4名、バイトが1名、友達の家に行くが1名となっている。

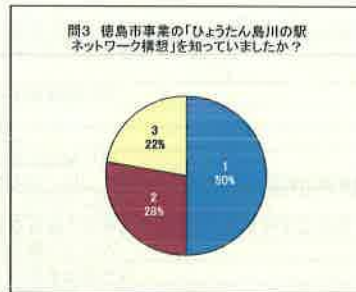


1. 仕事
2. 散歩
3. 買い物
4. 周遊船利用
5. イベント
6. ボランティア
7. その他

4) ひょうたん島川の駅ネットワーク構想を知っていたか？

問3では、ひょうたん島川の駅ネットワーク構想について知っていたかどうかについて回答を促した。

前から知っていたと回答した人50%(9名)、聞いたことはあったと回答した人28%(5名)と、回答者の78%の人は、何らかの形で川の駅ネットワーク構想を知っていたということが伺える。また、今回のアンケート調査により、今回初めて知ったと回答した人22%(4名)に、ひょうたん島川の駅ネットワーク構想についての情報を発信することができた。



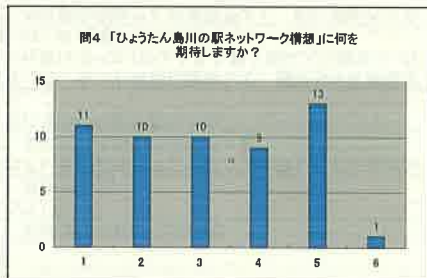
1. 前から知っていた
2. 聞いたことはあった
3. 今回初めて知った

5) ひょうたん島川の駅ネットワークに期待すること

問4では、ひょうたん島川の駅ネットワークに期待することについて複数回答を促した。項目の選択は3つまでとした。

川沿いがきれいに整備されることと回答した人13名、周遊船乗り場が増えることと回答した人11名、様々なイベントや活動に参加しやすくなることと回答した人10名、ひょうたん島周辺が賑わうことと回答した人10名、川沿いのお店が増えることと回答した人9名となっており、全ての項目にほぼ均等に期待が寄せられている。

また、その他として、無料駐車場ができることに期待しているという記載があった。

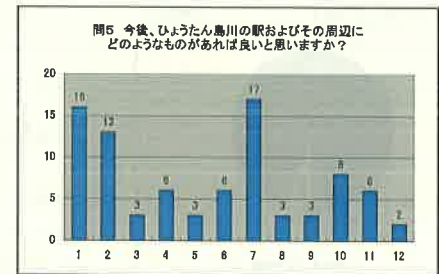


1. 周遊船乗り場が増えること
2. 様々なイベントや活動に参加しやすくなること
3. ひょうたん島周辺が賑わうこと
4. 川沿いのお店が増えること
5. 川沿いがきれいに整備される
6. その他

6) ひょうたん島川の駅およびその周辺にあれば良いと思うもの

問5では、ひょうたん島川の駅およびその周辺にどのようなものがあれば良いかについて複数回答を促した。項目の選択は5つまでとした。

おしゃれなカフェやレストランと回答した人17名、トイレや手洗い施設と回答した人16名、ベンチなどの休憩施設と回答した人13名と、回答者18名のほとんどがこの3項目を必要していることが伺える。次いで、イベント情報などがわかる仕組み8名、川の駅インフォメーション6名、誰でも使えるギャラリーや会議室6名、いつ来ても楽しめるイベント6名となっている。また、その他として、2名が無料駐車場と記載している。



1. トイレや手洗い施設
2. ベンチなどの休憩施設
3. 船の待合い場所
4. 川の駅インフォメーション
5. 駅長さんと駅員室
6. 誰でも使えるギャラリーや会議室
7. おしゃれなカフェやレストラン
8. 川遊び等のスポーツショップ
9. 放送局のサテライトスタジオ
10. イベント情報などがわかる仕組み
11. いつ来ても楽しめるイベント
12. その他

7) ひょうたん島周辺でどのような活動がしたいか？

問6では、ひょうたん島周辺でどのような活動がしたいかについて記述回答を促した。まとめを次に示す。

表5 ひょうたん島周辺でしたい活動

キーワード	記述回答の要約 (回答数)
ライブ活動	・音楽イベント(2) ・音楽ライブ ・野外ライブ ・ライブイベント ・人がたくさん集まれる音楽系のもの
写真の撮影会・大会	・写真の撮影会 ・写真大会
健康・スポーツ	・ウォーキング ・障害物競走
川を活かした活動	・灯籠流し ・川遊び ・ベネチアのような感じ
川の講習会	・船の操縦講習会

8) 徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の感触は？

問7では、今回の徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の博覧会への感触について記述回答を促した。まとめを次に示す。

表6 徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の感触

キーワード	記述回答の要約 (回答数)
楽しそうだった・好評	・みんな楽しそうだった(3) ・みんな楽しく嬉しそうだった ・いい感じだった(2) ・良かった(2) ・悪くなかった
川の駅への期待	・川の駅ネットワークを知っている人や、今後に期待している人が多いように感じた ・みなさんモチベーションが高くて、アンケートもはかどった
B級グルメ	・B級グルメの参加者が多く、グルメを楽しんでいる人が本当に多くいると感じた
PR不足	・少しPRが足りないという声が多かった気がする
アンケートの文字	・老眼の方のために、アンケートの文字をもう少し大きくした方がよい
場所の温度差	・場所によって、温度差が激しいと思った ・助任方面もイベントが増えるともっと良いと感じた

9) 徳島ひょうたん島博覧会に参加した人の感触は？

問8では、今回の徳島ひょうたん島博覧会に参加した協力団体の博覧会への感触について記述回答を促した。まとめを以下に示す。ここでは、徳島ひょうたん島博覧会に対する協力団体の感触がどうだったかを聞いた設問であったが、アンケート部隊に対する協力団体の対応等に偏った回答を得ることになってしまった。今後、設問の記載に再考が必要である。しかし、「本人が楽しんでいるのかが不明だった」という意見については、協力団体に見られた課題の1つであることが伺える。

表 7 ひょうたん島博覧会に参加した協力団体の感触

キーワード	記述回答の要約(回答数)
好感触・好印象	・好感触 ・好印象だった(2) ・感じよかった
優しく協力的	・優しくななばかりで、安心することができた ・いい人ばかりでした ・皆、やさしい人ばかりだった ・とてもやさしく、待遇も良かった ・協力的で助かった ・自分のミスを迅速にカバーしてもらった ・学生にも優しくしてくださって嬉しかった ・市民活力開発センターのサポートがあったので、すごく助かった ・皆さん頼りになる人たちばかりだった
今後の活動に期待	・今後の活動に期待している
ふつう	・ふつうだった
ブースでの対応	・風船配付の情報共有ができてなく、新町ブースの対応が良くなかった
楽しんでいるのかどうか	・本人が楽しんでいるのかが不明だった

5. ワーキング会議

5. 1 ワーキング会議の概要

団体関係者を対象としたワーキング会議の概要を次に示す。

	開催日時/開催場所	概要
ひょうたん島シンボル エリア検討ワーキング 会議	平成 25 年 7 月 30 日 (火) 18:00~19:30 /両国橋たもとボンツーン	・新町橋たもと周辺から両国橋たもと周辺までをひょうたん島シンボルエリアとして、当該エリアを利用している各種団体メンバーの参加を得て、シンボルエリアのイメージについて意見交換を行った。 ここで得られた意見と市民構想会議で得られた意見を基に、シンボルエリアの整備イメージをまとめた。 ・参加者：関係団体 8 名・事務局 6 名
第 3 回ワークショップ 事前ワーキング会議	平成 25 年 10 月 1 日 (火) 19:00~21:00 /エフ設計コンサルタント	・第 3 回ワークショップにおいて、ひょうたん島博覧会との連携で行う活動について、関係団体と意見交換を行い、ワークショップの内容とアンケート調査内容を詰めた。 ・参加者：関係団体 8 名・事務局 7 名

5. 2 ひょうたん島シンボルエリア検討ワーキング会議のまとめ

■ワーキング会議メモ

日 時：平成25年7月30日（火） 18:00～19:30

場 所：両国橋袂ボンツーン

出席者：NPO法人 新町川を守る会 中村会長、日本建築家協会 間様、B-FM791 そわ様

徳島県建築士会青年部 赤尾様、岩本様、西尾様、間様、真鍋様

キーワード	ワーキング会議の意見交換			
公園の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・新町橋下から公園への通路や、新町橋からのスロープなどに吹きだまりのようなところがある。 → 不衛生な感じで、景観が悪い。 ・新町橋からふれあい橋までの間の池を、きれいにしてほしいという要望がある。 ・ボードウォークから道路への通路を増やしたい。 ・ボードウォーク(河川側)と民有地の間に空間がある。 ・全体的に古い民家が増えてきている。 → 長付地なのであまり、言えないが、提案をしていきたい。 ・ボードウォークにパラソルを設置するために、木の伐採を行った。 → 日中は木陰が少ないので、人が少ない。 ・両国橋からふれあい橋までの間の堤防は広いので、整備をしやすい。 ・ふれあい橋から新町橋までの間は、堤防が狭いので整備が難しい。 ・土木からの観点として、安全・安心は必要。 ・両国橋周辺は整備が可能かもしれないので、徳島県河川振興課との協議が必要である。 ・都市公園が多すぎる。 ・少し歩いて休む場所が必要(木陰とベンチなど)。 → ポケットパークをひょうたん島周辺に整備し、川の周辺を楽しむ。 			
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノハウスは以前電波を発信していた。 → メディアと連携をして、FMやAM等を発信できるのではないかな。 → スタジオ的なものであれば、ラジオもテレビも使いやすい。 → 川沿いのリアルタイムな情報発信。 → FMはコアな番組(ここにしかないもの)ができる。 		
		公園から街へ	<ul style="list-style-type: none"> ・1.5mの堤防は必要である。 → 公園と街をつなぐ動線には邪魔である。 ・公園(1.5m)から街へ、いかになだらかなつなぐかが問題である。 → 緑の丘や階段状のものなど。 ・周辺の民家や商業施設への配慮も必要である。 ・オープンなものをつくっても、イベントにしか人が集まらないのではなく、毎日利用できるものをつくる必要がある。 ・街と公園をつなげて人も人が集まるとは限らないが、街で何かができるようになる。 → 街への広がりをもたせられる。 	
			整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・10年後、20年後の川沿いをあらわしてほしい。 ・今までは道路中心だったため、川へ背を向けているかたちになっている。 ・川の駅が日常的(川中心)になると、10年後20年後には川の方へ顔が向いてくる。 ・道路は現状を変えられない。 ・徳島市条例で時間通行制限を設けてはどうか。 → 道路を歩行者天国にする。 → 街としての広がりができる。 → 車が行き交うところをつくるのと、歩行者が行き交うところをつくるのでは賑わいが違う。

キーワード	ワーキング会議の意見交換	
整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・100年後、どうなっているかを考えてみてはどうか。 ・将来的に川の駅を広げていきたい。 → 吉野川沿いや北島(旧吉野川)や撫益航路など。 ・ひょうたん島周辺を特区にしてみよう。 → 特区になると、ひょうたん島独自のものが整備できる。 ・予算の1/3でもそこを利用する人が支払うと、整備が進みやすい。 ・市民が行動をおこさないと、市が整備するだけでは人は集まらない。 	
	管理者の選定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅の整備は、徳島市が行うのか。 → 整備をしていくが、駅舎ができるかどうかは検討が必要となる。 ・川の駅の管理者は、川の駅周辺で活動する団体を対象とするだけでなく、もう少し広く川の駅に興味のある人を呼び込んでほしい。 ・現在川の駅に関わっている人しか入りにくい状態なので、もっと広く募集してほしい。 → プロポーザルやPFI事業など。 → 参入を考えている団体の調査が必要。 → ワーキング会議だけで決めるのではなく、公募も行っていく予定である。 → 選定基準は必要となる。

■ワーキング会議の様子



5.3 第3回ワークショップ事前ワーキング会議のまとめ

■ワーキング会議メモ

日時：平成25年10月1日(火) 19:00~21:00

場所：株式会社 エフ設計コンサルタント

出席者：NPO法人アクア・チッタ 岡部理事長、岡部事務局長、万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会 富士様、佐川様
NPO法人眉山大学 長谷川様、徳島県建築士会青年部 真鍋様、開様、徳島市市民活力開発センター 岸田様

キーワード	ワーキング会議の意見交換
ひょうたん島博覧会の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助任橋袂棧橋周辺 <ul style="list-style-type: none"> → 千山丸の展示・進水式(段ボール船)、ワークショップの開催 眉山大学 → 飯想川の駅の設置 アンケート調査 徳島県建築士会青年部 → ボランティアの派遣 徳島市市民活力開発センター → 他の活動団体に音響等で協力をする 徳島市市民活力開発センター ・ 万代中央ふ頭棧橋周辺 <ul style="list-style-type: none"> → ハンドメイドマーケット(雑貨づくり) NPO法人アクア・チッタ → 水上バスの乗降の補助作業 万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助任橋袂棧橋周辺、万代中央ふ頭周辺、新町川水際公園ボートハウス前棧橋周辺(あわぎんホール周辺も含む)で行う。 ・ アンケート用紙に、調査場所「万代エリア、助任エリア、新町エリア」を入れる。 ・ アンケートの仕方はどうするのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 聞き取りがいいのか、記入してもら方がいいのか。 → すぐに記入は無理だと思うので、後日回収ボックスを設置し、回収するのはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> → それでは集まらない。 → 記入してもらって、その場で回収をする。 ・ アンケートをすることによって、川の駅ネットワーク構想を周知したい。 ・ アンケート項目の中で、何が一番聞きたいのかを明確にする。 <ul style="list-style-type: none"> → 項目の絞り込みが必要である。 ・ アンケートに答えやすいものにして、時間の短縮をはかる。 <ul style="list-style-type: none"> → アンケートを行う側としたら、5項目くらいにして欲しい。 → 用紙を1枚にする。 → アンケート項目の記述式はやめて、「○」の記入をしてもらう。 ・ 一般の人には、「川の駅」が分からない人もいる。 <ul style="list-style-type: none"> → ひょうたん島という名前を知らない人がいる。 → 川の駅の説明を簡単にできるマニュアルが必要である。 → 川の駅候補地の図面を、手持ち用と大きなパネル(図面を貼ったもの)を用意して、説明・記入してもらう。 → アンケートブースをつくって、そこに来てもらった方が説明がしやすいのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> → ブースをつくると、逆に人は集まらない。 ・ 問4の、「全てに○を入れてもらう」のは、あまり効果が無い。上位3位にする。 ・ 問5、問6、問7については、もっと分かりやすい言い回しが必要である。 <ul style="list-style-type: none"> → 問5、問6、問7は削除する。 ・ 問8は、項目を何個かあげて答えてもらうようにする。 → 川の駅及びその周辺の整備を聞いて欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> → 周辺のカフェやトイレなど、ソフトとハードの両方の項目を入れる。 ・ 問9は削除する。 ・ 活動の検証のためにも、問11は必要である。

キーワード	ワーキング会議の意見交換
参加者用アンケートについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性別や年齢の問は、一番初めに持ってくる。 ・ 「駅の候補地の中で自分はどこの駅が重要だと思いますか」で、大きな候補地の図面にシールを貼ってもらう。 ・ 周遊船に乗ったことがあるかの項目が必要である。 ・ 駅によって、候補地周辺に必要な物が変わってくる。 ・ アンケートをするきっかけに、景品が必要ではないか。 <ul style="list-style-type: none"> → 駄菓子一つあれば、人は集まる。 → 26日は駄菓子を用意する。 → 27日は眉山大学が風船を配る(各会場)ので、それと一緒にアンケートを行う。 ・ 2日間で、900人を目指す。最低500人は必要である。 ・ 「このイベントを、何で知りましたか」という項目も必要である。 ・ 最後に「最後に何かご意見はありますか」の項目を入れる。 ・ 助任橋袂棧橋については、建築士会青年部が設置する「コココミ」でアンケート調査をさせてもらえないか。 <ul style="list-style-type: none"> → 他のイベントとの調整が必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひょうたん島博覧会に参加している各団体に、アンケートをお願いする。 <ul style="list-style-type: none"> → 20組で各団体最低でも3名ずつには、聞きたい。 ・ 団体名の記入をしてもらう。 ・ 性別や年齢の問は、一番初めに持ってくる。 ・ 問5、問6、問7は、削除する。 ・ 問10は、団体名を記入するので、削除する。
アンケートをする意味について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の活動につなげていきたい。 ・ 今までに行ったヒアリングやアンケートを、川の駅ネットワークをつくっていくときに、どうやって動かしていけばいいのかという、基の資料になればいいと思っている。
万代中央ふ頭について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川の駅としての提議にあげられるものが、万代中央ふ頭には揃っている。 ・ 川の駅になるには、万代中央ふ頭棧橋が一番近いと思う。 <ul style="list-style-type: none"> → 今すぐにはたくさんのハードルがあるが、前向きに取り組んでいきたい。 ・ 構想会議では、他の候補地と同じように考えて欲しい。 ・ 万代中央ふ頭のイメージ図も画いて欲しい。 ・ 県と市が協力をしてほしい。 ・ 整備について、県と市で協議をしているのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 県に状況報告は行っている。 ・ 市から県へ具体的な話をすれば、もっと話は進むと思うが、状況報告だけでは話は進んでいかない。 ・ もっと前向きな話し合いが必要ではないか。 <ul style="list-style-type: none"> → 「整備について、どういうふうを考えていますか。」というところから、話し合っていけばいいのではないかと。 ・ 具体的に、県は整備について何か考えているのか。 <ul style="list-style-type: none"> → ボンツーンについては、現在概略の検討を行っている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築士会青年部が中心(学生アルバイト)となって、アンケート調査を行う。 <ul style="list-style-type: none"> → 事前にアンケート部隊に対して、川の駅についてのレクチャーが必要である。 ・ 船の出発を、各川の駅にする。 <ul style="list-style-type: none"> → 各川の駅長と船頭との連絡を密にする。

6. 川の駅候補地の調査資料

	あわぎんホール前棧橋	県立武道館裏棧橋	
現 況 写 真	<p>【撮影位置図】</p>  <p>【A方向写真】</p> 	<p>【撮影位置図】</p>  <p>【A方向写真】</p> 	
	<p>【B方向写真】</p>  <p>【B方向写真】</p> 	<p>【B方向写真】</p>  <p>【C方向写真】</p> 	
	<p>【C方向写真】</p>  <p>【C方向写真】</p> 	<p>【D方向写真】</p>  <p>【E方向写真】</p> 	
	<p>① L=18.0m, W=3.5mの浮き棧橋を配し整備済みの状況である。</p> <p>② 写真中の捨石部分を改善する事で、周遊船のより安全・安心な離着岸が可能になると考えるが、現在の川底の浚渫による改善も可能と考える。 ※) 離着岸角度30度の場合</p> <p>③ M's Happinessの接岸時は、前面に仮設浮き棧橋の設置が必須となる。</p> <p>④ 利用頻度は少ない。</p>	<p>① 既存船溜まりスペースは狭小で西の丸橋からの離れも少ないため、ここに川の駅を計画する場合は護岸工の改築を伴う工事は必要と考える。</p>	
	考 察 等		

助任川河岸緑地の文学書道館寂聴棧橋

【撮影位置図】



【A方向写真】



【B方向写真】



【C方向写真】



【A方向写真】

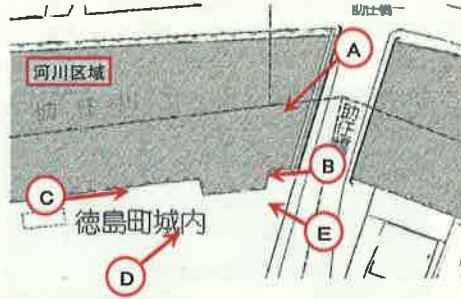


【B方向写真】



助任橋もと棧橋

【撮影位置図】



【A方向写真】



【C方向写真】



【E方向写真】



【B方向写真】



【D方向写真】



現
況
写
真

考
察

- ① L=8.0m, W=1.5mの浮き棧橋を配し整備済みの状況である。
- ② 浮き棧橋の規模が小さいため、混雑時の安全・安心の確保に不安が残る。
- ③ 90度旋回による離着岸となるため、混雑時は着岸時に人員を配置するなど、周遊船の離着岸をより慎重に行う必要がある。

- ① 階段式護岸、ウッドデッキ等による親水性のある護岸整備が完了している。
- ② この位置に浮き棧橋を計画する場合、既存階段式護岸工の改築を伴う工事が必要と考える。

中徳島河畔緑地棧橋

【撮影位置図】



【A方向写真】



【C方向写真】



【B方向写真】



【D方向写真】



【E方向写真】



万代中央ふ頭棧橋

【撮影位置図】



【A方向写真】



【A方向写真】



【B方向写真】



【C方向写真】



【C方向写真】















現
況
写
真

考
察

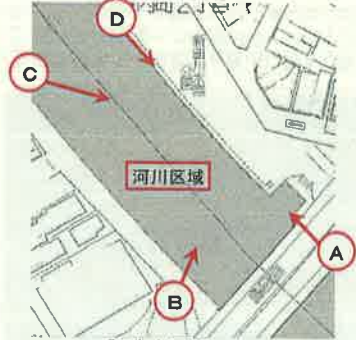
- ① 階段式護岸、青石張り等による親水性のある護岸整備が完了している。
- ② 既存階段式護岸工の改築を伴う工事が必要と考えるが課題は多い。

- ① 既存浮き棧橋を有効活用する事で、少ない投資で大きな効果が期待できる。
- ② 川の駅として整備する場合は、安全対策に留意する必要がある。
- ③ ひょうたん島から万代中央ふ頭を周遊する水上バスの実証実験を実施した。
(平成24年10月20日～平成24年12月16日 土・日・祝日)
- ④ 万代倉庫群のにぎわい創出に寄与できるものとする。

	<p style="text-align: center;">県庁前棧橋</p>	<p style="text-align: center;">中洲市場前棧橋</p>
	<p style="text-align: center;">【撮影位置図】</p>  <p style="text-align: center;">【A方向写真】</p> 	<p style="text-align: center;">【撮影位置図】</p>  <p style="text-align: center;">【A方向写真】</p> 
現況写真	<p style="text-align: center;">【B方向写真】</p>  <p style="text-align: center;">【B方向写真】</p> 	<p style="text-align: center;">【B方向写真】</p>  <p style="text-align: center;">【C方向写真】</p> 
考察	<p style="text-align: center;">【C方向写真】</p>  <p style="text-align: center;">【D方向写真】</p>  <p>① 既存護岸工への影響を最小に抑えて浮き棧橋の計画は可能と考える。 ② 既存係留船舶への配慮が全ての面で必要になる。 ③ 現在は施設も未整備であり、乗り降りが困難な状況である。</p>	<p style="text-align: center;">【D方向写真】</p>  <p style="text-align: center;">【E方向写真】</p>  <p>① 計画位置が堤内側となり、津波に対する後背地住民の安全・安心に留意する必要がある。 ② また、土木工事を伴う計画は不可避となるため、建設環境に対する配慮も必要になる。 ③ 各候補地の中で最も高額な事業費と長い工期を必要とする等、極めて課題が多い。</p>

新町川水際公園ボートハウス前棧橋

【撮影位置図】



【A方向写真】



【C方向写真】



【B方向写真】



【D方向写真】



【出航時間表】



拠点となる川の駅(新町橋河畔棧橋)

【撮影位置図】



【A方向写真】



【C方向写真】



【B方向写真】



【D方向写真】



【計画イメージ】



出典:新町西地区市街地再開発事業

現
況
写
真

考
察

- ① 現在L=40.0m, W=5.0mの浮き棧橋を配し整備済みの状況である。
- ② 現行の周遊船の乗降場として、また親水性を実感する憩いの場として活用されている。
- ③ 新町西の拠点となる川の駅との役割分担により、にぎわいの相乗効果が期待できる。

- ① L=30.0m, W=4.0mの浮き棧橋の規模で、拠点となる川の駅として現在整備計画中である。
- ② 徳島駅前から眉山にかけての本市シンボルゾーンと新町川が交差する位置にある。
- ③ 水都とくしまを代表する公共施設として、その活用が大いに期待されており、心おどる水都とくしまを実感できる、シンボルエリアとして整備する方針である。

徳島文化公園前棧橋

【候補地位置図】



【A方向写真】



【B方向写真】



【C方向写真】



【D方向写真】





現
況
写
真




考
察

- ① 中徳島河畔緑地への玄関口として活用が期待できる。
- ② 堤内側切り込み部に浮き棧橋を計画することを前提とする。
- ③ 既設護岸前面の捨て石を改善することで、周遊船離着岸時の安全性能が向上するため、この部分の改築工事は必要と考える。

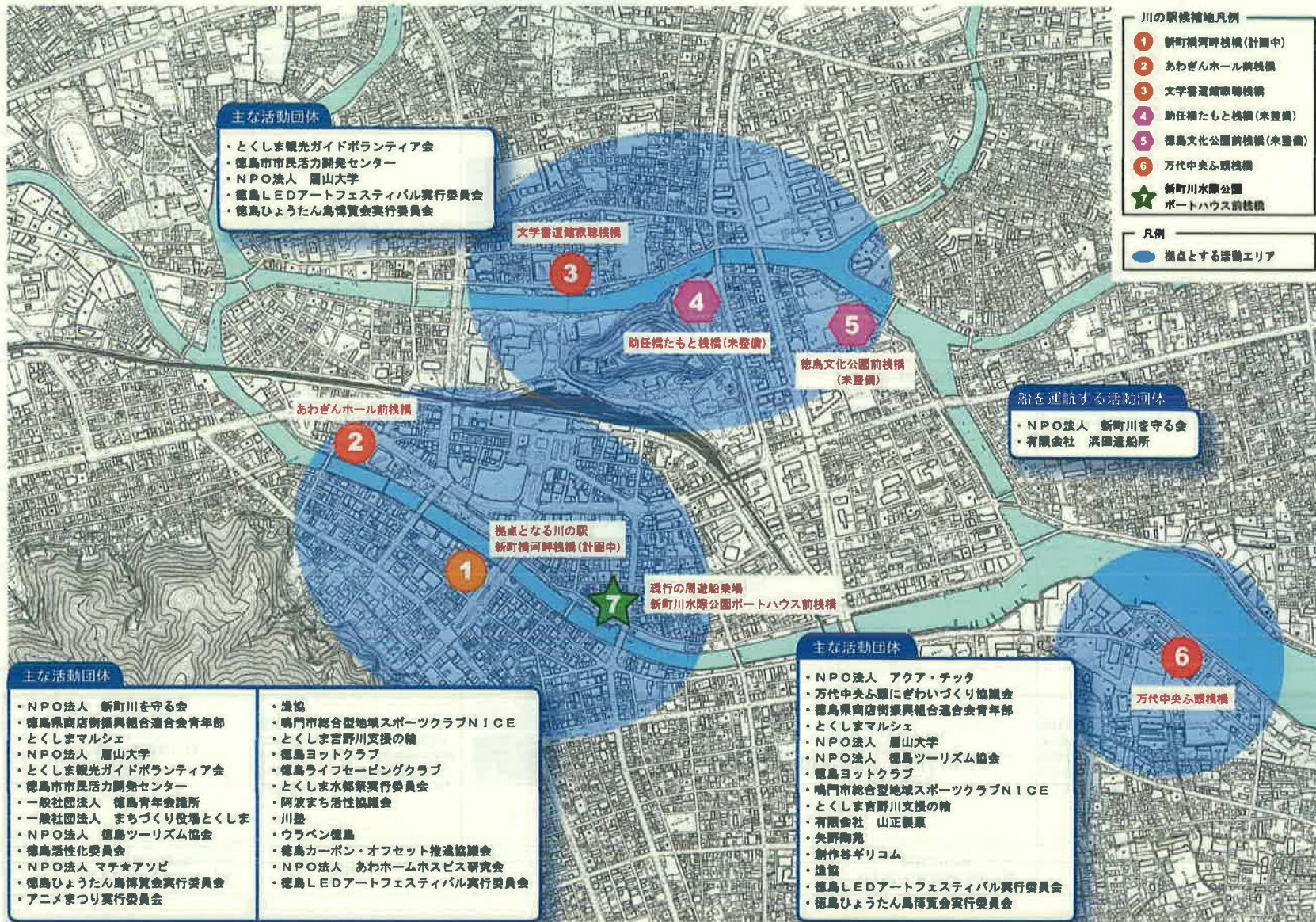
7. 川の駅周辺の主たる活動団体の概要

活動団体名	ひょうたん島周辺に関する活動エリア等	活動内容	活動写真等	活動団体名	ひょうたん島周辺に関する活動エリア等	活動内容	活動写真等
NPO法人 新町川を守る会	ひょうたん島全域 拠点：両国橋袂ボートハウス 連絡先：事務局 住所：徳島市寺島本町東1-17 TEL:090-3783-2084	「一人の百歩より百人の一步を」を合言葉に、新町川を中心に清掃作業船での清掃活動や吉野川河川敷のアドプト・プログラムへの参加、リパークルーピング活動、「3001年の森」の植樹等のリバーサイド修景活動、その他イベント活動を展開している。		徳島LEDアートフェスティバル実行委員会	ひょうたん島全域 連絡先：徳島市経済政策課 住所：徳島市幸町2-5 TEL:088-621-5225	徳島の新産業LEDを活用し、徳島市の水と緑と光の魅力を発信するLEDアートフェスティバルを開催している。2010年からトリエンナーレ方式(3年周期)で大祭を開催した。	
とくしま観光 ガイドボランティア会	ひょうたん島全域 拠点：阿波おどり会館 連絡先：モラエス館内 住所：徳島市眉山町 TEL:088-623-5342	阿波おどり会館・モラエス館を拠点として、徳島市中心市街地の見どころや、はな・はる・フェスタ等のイベントでガイドツアーを行っている。		一般社団法人 徳島青年会議所	藍場浜公園・東新町商店街等 連絡先：経済産業会館内 住所：徳島市南末広町5-8-8 TEL:088-623-1478	ハイスクールアワード大賞～絆が創る未来の徳島～等、高校や商店街等を活用して各種イベントを行っている。	
財団法人 徳島県建築士会青年部	ひょうたん島全域 連絡先：徳島県建設センター内 住所：徳島市富田浜2-10 TEL:088-653-7570	ひょうたん島八景の選定、ひょうたん島の回遊性を生かした「川の駅」構想、水際公園両国橋乗船場整備プロジェクト、景観まちづくりセミナーの開催など、あしたのひょうたん島プロジェクトを立案し活動を展開している。		はな・はるフェスタ 実行委員会	藍場浜公園・新町川水際公園 連絡先：徳島新聞社企画事業部 住所：徳島市中徳島町2-5-2 TEL:088-655-7331	藍場浜公園を中心に毎年4月に、阿波おどり・音楽ライブ・ダンスバトル等様々なイベントを開催している。徳島ラーメン博覧会、県内各地のグルメや伝統工芸の体験ブース等も多数出店している。	
NPO法人眉山大学	ひょうたん島全域 連絡先：chuchu churros Cafe 住所：徳島市東新町1-23 TEL:080-4034-0235	「まちでまなび、まちをあそぶ」というコンセプトのもとに、徳島市全体をフィールドとし、老若男女を問わず学びの場づくりを行っている。まちのお店や施設などと連携し地域密着型の活動を展開している。		ふるさとカーニバル 実行委員会	藍場浜公園 連絡先：四国放送営業開発部 住所：徳島市中徳島町2-5-2 TEL:088-655-7667	藍場浜公園を中心に毎年11月に、狸まつりを開催している。今年で35回目を迎える。	
徳島市市民活力 開発センター	ひょうたん島全域 連絡先：市民活力開発センター 住所：徳島市幸町3-71-1 TEL:088-611-3886	徳島市の市民活力開発を目的として、各種NPO活動やイベント等の支援活動を展開している。		新町西地区市街地 再開発準備組合	連絡先 住所：徳島市新町橋2丁目30-2 新町西地区市街地再開発準備組合 TEL:088-677-9885	新町西地区市街地再開発の事業主体として、再開発事業の推進を行っている。	

活動団体名	ひょうたん島周辺に関する活動エリア等	活動内容	活動写真等
とくしまマルシェ	しんまちボードウォーク 新町川水際公園等 連絡先:事務局 住所:徳島市東新町1-16 (VEEビル2F) TEL:080-4030-7140	しんまちボードウォーク等のパラレルショップにて、徳島県特産の物産市や、マルシェ・カフェ、ECOdeMarche!!(エコ・デ・マルシェ)等、毎月最終日曜日に各種イベントを開催している。	
水際文化村フレンドリー活動推進協議会	東新町商店街等 連絡先:モドジャコモ 住所:東船場町2-42 TEL:088-626-1255	若手経営者の有志により、ボードウォークの両端の公園等を中心に、カウントダウンイベントや日本一早い福袋セールなどのイベントに取り組んでいる。夏にはボードウォークで阿波おどり連が練習をする企画を立てて、連に呼びかけなども行っている。	
アニメまつり実行委員会	東新町周辺 連絡先:ufotable徳島スタジオ 住所:徳島市東新町1-16-3 TEL:088-677-9956	2009年よりアニメのお祭り「マチ★アソビ」を開催している。年々集客が増え、全国規模の祭りとして定着しつつある。	
NPO法人アクア・チッタ	万代中央ふ頭 連絡先 住所:徳島市万代町5-71-4 (第二倉庫) TEL:088-679-8001	万代倉庫群を中心に、「アクア・チッタフェスタ」や清掃活動等のイベント活動を展開している。	
万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会	万代中央ふ頭 連絡先 住所:徳島市万代町5-71-3 (万代倉庫) TEL:088-679-8161	「物流機能」から「にぎわい空間」へ転換を図ることを目的に、倉庫以外の利活用や水上バス、観光クルーズ船を運航する実証実験を実施している。	

活動団体名	ひょうたん島周辺に関する活動エリア等	活動内容	活動写真等
徳島ひょうたん島博覧会実行委員会	ひょうたん島全域 連絡先:徳島市企画政策課 住所:徳島市幸町2-5 TEL:088-621-5085	ひょうたん島周辺で、地域の魅力にこだわった様々なプログラムを体験できるイベント「徳島ひょうたん島博覧会」を開催。継続開催に発展させたい。	
一般社団法人 まちづくり役場とくしま	東新町周辺 連絡先:まちなかキャンパス 住所:徳島市東新町1-16-3 TEL:090-5914-2099	徳島市の中心市街地に、学生や街に関係する人々が利用できる「まちなかキャンパス」を設置し、セミナー、イベント、大学のゼミなどに活用している。	
有限会社 浜田造船所	ひょうたん島全域 連絡先:有限会社浜田造船所 住所:徳島市津田本町1-4-6 TEL:088-663-0353	ひょうたん島の周囲の川をめぐる新たな周遊船、イベントクルーズチャーター船「エムズ・ハビネス号」を運航している。	

8. 川の駅周辺を拠点とする活動団体分布図



*この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである。(承認番号 徳島市指令都政第10号)

9. 川の駅周辺を拠点とする活動団体ヒアリング調査（報告）

■活動団体ヒアリング調査（報告）

【川の駅候補地の中心的活動団体：ひょうたん島川の駅連絡会参加予定団体】

活動団体名	ヒアリング対象者	川の駅候補地で使っていた場所	川の駅があれば良いもの	川の駅に期待すること	現在の活動内容等	一輪に活動している団体等	今後、川の駅候補地で活動してみたい内容等	活動決定時のプロセス	連絡会員（仮称）への参加
NPO法人新町川を守る会	中村英雄 (理事長)	・徳島大学工学部の門前にタラップをおおす ・徳島大学内へ水路を掘って、構内まで船で行けるようにする ・あわぎんホール前棧橋 → イベント時のみ停車にしてみたい	・駅長がいる → 船から降りたら話ができる人がいる ・トイレがある ・停留所	・起点と各駅の連絡が取れるシステム → 乗船待ちが〇〇人います等 ・寂れた橋の対岸に棧橋を作って、徳島駅と横断歩道橋でつなぐ ・体育館やプールなども内町小学校付近へ移し徳島の顔を作る ・徳島駅まで運河をほって、船でそのまま駅に行く ・寂れた橋の橋を上げて、橋の両側から船を停められるようにすると、もっと停めやすくなる ・今あるものを活かす → 無理をしても費用がかかるだけになる	・クリーンアップ活動 → 毎月1日と第3土曜日 川の清掃活動 → 毎月第2日曜 吉野川河川敷アドプト活動 ・リバークルージング活動 → ひょうたん島クルーズ 元旦、悪天候（大雨・警報発令時）時は、毎日運航 → 吉野川クルージング ・リバーサイド修繕活動 → 3001年の森の植樹活動 高知県大川村で年3回 植樹と下草刈り ・イベント活動 → 吉野川フェスティバル → 川からサウナがやってくる → 寒中水泳大会 → イベント時の船の運航	・とくしまマルシェ ・アクア・テッタ ・徳島ヨットクラブ ・漁協と連携 → 魚の販売	・北島町、松茂町、鳴門市などへ活動を広げていく ・1日1回アスティ徳島や沖洲への定期便を運航する ・自転車も乗せて運航する ・環境重視の活動 ・環境をよくして、水辺に人が集まるまちづくり → 「掃除をするから川がきれいだから、ごみを捨てないから川がきれい」というふうに意識を変えていく ・動物園跡地に、養学校と一輪になってクラシックホールをつくる → 環境も良く、文化にふれられる街にする ・川辺に文化が集まってくる → 環境・教育・医療・文化があれば徳島は栄えるし、住んでいる人も楽しめる	・日程と活動内容があれば決定する ・法人会員なら、ボツツーンの利用はできる ・利益目的の活動に、ボツツーンの出しはできない	参加する
とくしま観光ガイドボランティア会	黒田忠良 (副会長)	・徳島文化公園前棧橋 → 他の棧橋とは距離があり、市民遺産の藩政の松や開闢期の像がある福島橋にも近く、歴史遺産も多く話題性があるので「まち歩き」イベントに使いやすい	・トイレ・手洗い場・屋根付きベンチ・賞機材入れ（ベンチ下、腰板裏）・案内地図版・管理者を常駐させるなら足湯・花壇・ハート型の石（新たな発見になり物語を作りやすい、ちよとした遊び心） ・イベント時や飲食屋敷を考慮するのであれば移動販売スペース（全ての川の駅ではなく、利便性のいい場所）・手荷物預かり・自販機・観光バスの駐車場・乗降できる停車場（両国橋扶橋ポートハウス前棧橋） ・両国橋から新町橋にかけてもう少しぎわい（屋台等）があればいい	・観光客だけでなく地域のコミュニティの場となれたい ・地域の人が集まってくるような花壇、画となる風景を作る ・桜と紅葉は1本あれば、人は集まってくる ・カメラマンが集まってくるような風景づくりを心がける ・人は自然と集まってくる ・花の数と同じだけカメラマンが集まる ・三ツ合橋周辺にも、川の駅があると良い	・とくしままち歩き → 毎週土・日定期コース → 事前予約の必要5コース → 事前予約の必要な季節企画コース ・ボランティア登録人数 → 約73名 → 実際に活動しているのは2~3割 → 会員は女性が多いが、活動しているのは男性の方が多い	・NPO法人 徳島ツーリズム協会からガイド派遣の要請	・観光部署でまち歩きコースを決定する	参加する	
徳島県商店街振興組合連合会青年部	服部和彦		・川の駅ファンクラブをつくる → 入ると何か特典がある	・イベントばかりではなく個店を大切に、顧客を大切にすること ・使い方はある程度決めないといけないと思うが、決めすぎるとおもしろい物はできない	・We Love 徳島笑顔キャンペーン → 1万人まで笑顔を増やす ・外注できたイベントの、サポートを行う ・釣り大会 → ゆりの日制定記念イベント（ゆりの日第1金曜日） → 市活センターに支援をもらった → 商店街と企業と協賛 → アクア・テッタでカフェ ・さくら祭り	・徳島市市民活力開発センター ・新町川を守る会 ・アクア・テッタ → さくら祭り等	・川を使ったイベント → 新町川を使った釣り大会 ・ひょうたん島周辺の桜めぐり → 桜を眉山頂上に植えて四国一の名所にし、周遊船でひょうたん島周辺のさくらの名所をまわる	・釣り大会は、商店街有志でじゃんけんをして、次の幹事を決めて他の人はそのサポートを行う ・青年部では決定できないので、案を出して、振興組合で申請をする	参加する
NPO法人眉山大学	長谷川晋理 (理事長)	・徳島文化公園前棧橋（動物園跡地） ・徳島グランヴィリオホテル、サンシャインとくしま → 観光客が空港から船に乗って、そのままチェックイン	・川の駅（棧橋）周辺の、後背地（ソフト面）の活用 ・観光バスなどの駐車場、停車場	・動物園跡地の活用・・・歴史・自然・今いる人たちが持っているものを活かす物づくり茶、人材育成など体験できるもの ・広域の商業施設や象徴的なところへ船で行ける ・「いけてる」サービスの提供 ・ひょうたん島周辺をランニングしている人達のコミュニティをつくる ・川の掃除などに参加し、協力して盛り上げていく ・イベントなどをして、使いやすさをアピールする ・イベントなどで川の駅を使う団体は、1団体につき1人の機織者を出す → 船の機織セミナーなどを開催して、操縦できる人を増やす	・新町～駅前を中心に活動 ・徳島大学で天体ショー ・ひょうたん島の川沿いを毎月マラソン5~8名が走る	・新町川を守る会のお手伝い ・毎月各種団体や学生などから、運搬の誘いがくる → 任意の団体やNPO法人、イベントのための実行委員会など	・ひょうたん島博覧会 → 中央公園（城山）で干山丸の制作 ・ひょうたん島周辺のホテルと連携 ・ひょうたん島の川沿いのマラソンコースに、象徴となる木やタイルや四国88カ所の目印を置く ・駅長会員 → 川の駅の連携 ・町内会に入っていない30~40代の住民を動かしていきたい ・元気のいい街を、元氣な街にしていきたい	・人と場所が見つかって、ここで何かやりたいということを決めていく ・お金が動くときは、理事会で決定する ・日常のコミュニケーション（フェイスブックなど）の中で、決定をしていく ・好きなときに、好きなプランをたてて、好きな人が行う → なぜ眉山大学という名前を使いたいかということを確認する → 活動の後も眉山大学の名前は残っていき、継続していくので活動の趣旨などを確認をする	参加する

活動団体名	ヒアリング対象者	川の駅候補地で使っていた場所	川の駅にあれば良いもの	川の駅に期待すること	現在の活動内容等	一緒に活動している団体等	今後、川の駅候補地で活動してみたい内容等	活動決定する時のプロセス	連絡会(仮称)への参加	
とくしまマルシェ実行委員会	金森直人(事務局長)		・新町西地区(ハード整備によって利用の仕方が変わってくる) ・新町川でカヌー・サップなど ・ボードウォークにパラソルショップ	・新町西地区再開発ビルの川に面したところに、おしゃれなレストラン ・川遊びのできるアウトドアショップ → カヌーツアーのスケジュール管理や指導のできるショップ ・水際公園周辺をパラソルで統一	・駐車場を整備をして、中心市街地に車が入ってくるのを減らすこと ・ボードウォークのレールをあげていくこと ・給排水施設が必要 → 提供できる物が増えること → 衛生面も良くなりお客様が増え、相乗効果が得られること ・年間の日程をオープンにし、川好きや写真家が集まってくる ・川を楽しむ施設 → 助任橋状では潮に関係なく、川を楽しめるイベントが行える → 新町川で週末はジョギングやウォーキングの代わりに、カヌーでトレーニングを行う → 那賀高校など、カヌー競技の練習をする場所 ・ひょうたん島を自然環境をPRしていくこと → 水のきれいさ、あかてガニなど	・マルシェ(毎月最終日曜日) → 出店パラソル約80店舗 飲食店入ると100店舗以上 → 意欲の低い出店者は入れ替えていく ・ナイトマルシェ(毎月最終土曜日) ・まちあそび(パラソルの設置)	・新町川を守る会 ・NPO法人 マチ★アソビ ・アニメまつり実行委員会	・新町西地区(ハード整備によって利用の仕方が変わってくる) ・新町川でカヌー・サップなどのイベント	・興味のあること ・街にひとつのソフトとしてあつたらおもしろいと思えるもの ・お客様の反応をみて、どうすれば楽しんでもらえるかというのを考える	・参加する
徳島市市民生活開発センター	岸田 侑(マネージャー)	・助任橋たもと棧橋 ・徳島文化公園前棧橋	・市バスの「川の駅」停留所 → 川の駅へ行く為の交通手段 ・駐輪場・フリーサイクル ・周遊船の1dayフリーパス	・川の駅ができ、イベントがしやすくなること ・水路として交通手段があること ・ひょうたん島の中の人たちに、活用しやすいものになること ・移動に船を使おうという発想になること ・船と自転車と移動ができること ・ひょうたん島に興味を持って、好きになってもらうこと	・ボランティア活動をした学生と、学生の支援を欲しいNPOをつなぐ → 一般市民にイベントに興味を持ってもらい、会場へ来てもらう ・NPO支援と講座(会計・労務など)の開催	・眉山大学と共催 → 外へ向かっての発達は眉山大学、学生はサポートをする ・NPO団体等	・徳島ひょうたん島博覧会 → 助任橋たもとで音響施設の設置(音楽で盛り上げる) → 眉山大学と学生をつなぐ ・川の駅ネットワークができたとき、そのネットワークの仲介役 → 助任橋たもと棧橋 → 学生や川の駅周辺の住民の支援をする → 川を主体としたまちづくりの成功事例をつくる ・徳島文化公園前棧橋 → イベントに使用 ・川の駅周辺のイベントに、船で機材を運搬する	・NPO等の団体から、活動を行いたい課題があってもいけないと相談が来る → 市活センターがかかわることで、課題がクリアできるのであれば支援する。学生と活動を行いたいという要望が多い。 ①NPO等団体に学生さんに対する対応の仕方指導する ②NPOから出された提案を学生も楽しめる内容にアレンジをしつつ、成果を上げられるものをつくる ③学生に社会に対する対応の仕方指導する ④双方をあわせて話し合う → 小さな問題もきちんと解決をする。活動にかかわった人に時間をかけて、マッチングを成功させる。 ・事務局で決定するが、月に1回の会議で助言をもらう	・参加する	
NPO法人 アクア・チャッタ	岡部恭子(理事長) 岡部斗夢(事務局長)	・万代中央ふ頭棧橋 → 現在の活動拠点	・安全に乗降できる整備 → 高さの低いポンツーン → ウォーターアクティビティ(カヤックやサップ等)にも使用でき活用方法が広がる ・情報発信の拠点	・簡単な使用形態が望まれる → 今は、使用申請書の提出が、イベントの2-3週間前には提出をしないといけない。万代中央ふ頭を突証突撃等ですと使っている団体に対しては、もう少し規制を緩くして欲しい。 ・「ハレの場」(非日常)と「ケの場」(日常)の両方の機能が必要	・アクア・チャッタフェスタ → 一年に1回1日だけ開催(参加者は1000人を超えるアクア・チャッタ最大のイベント) ・偶数月の第3土曜日に清掃活動 ・水際まちづくりビジョン → 万代中央ふ頭における新しい街のビジョンプランを策定 ・県や市との協働事業 → 地域密着型のまちづくり ・水辺の夢プログラム → 今年度12回開催(講師の都合によって日程の決定) → カヌーやカヤックなど	・鳴門市総合型地域スポーツクラブNICE → カヌー体験 ・山正製菓 → 和菓子づくり体験 ・矢野陶園 → 陶芸教室 ・創作谷ギリコム → 夏休み園面工作教室 ・とくしま野川支援の輪 → カヌー&水遊び体験	・万代中央ふ頭をもっと使いたい(知って欲しい) → 目新しいイベント → 乗客の多いものや、注目度の高いイベント(ウォーターボールなど) ・とくしまマルシェと連携 ・他の倉庫利用者 ・パーク・アンド・ライドの拠点	・コアメンバー(事務局)で決定 ・ジャンル別の担当者で決定 ・ファンクラブに近い団体(アクア・チャッタフレンズ)がある → SNS発進が他の団体より優れている	・参加する	
万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会	原田直樹(運輸政策課係長) 佐川友美(運輸政策課主事) 富士貴子(にぎわいづくり協議会事務局)	・万代中央ふ頭棧橋 → 活動の拠点	・バス停と同じような待合い場所(屋根付き)・ベンチ・トイレ(アクアチャッタのトイレと兼用でも良い)・券売機(人の常駐は無理)・時刻表・定期券(1dayフリーパス) ・道路に川の駅の標識があると、分かりやすい ・ポンツーンの安全性 → ポンツーンが小さく乗降時はかなり揺れるのでお助けする人がいる(安全対策をきちんとする) → ポンツーンの安全性を確保するため杭を打つなど、何らかの対策が必要	・万代中央ふ頭を忘れて欲しい ・周遊船の発着を、万代中央ふ頭棧橋にする → 駐車場がある → にぎわいづくりに活用	・水上バス突証実験 → 14日間で利用者は約550人・1日8便で平均5人(単純計算)。利用者は親子連れが多い。ひょうたん島周辺500mくらいの幼小小学校在にチラシを配布した。昭和地区の人が徒歩で来たり、周遊船に乗るためだけに来ているリピーターが多い。 ・観光クルーズ(浜田造船所協賛) → ピアクルーズ、クリスマスクルーズ ・清掃活動 ・万代中央ふ頭の倉庫街の構想、活用の規制緩和の協議会を主体として行っている → 倉庫の利用状況として、倉庫1は突証突撃の参加者の選定中、倉庫2はアクア・チャッタが利用、倉庫3は空いている → 倉庫利用が規制緩和になったので、倉庫以外の利用で使用されているところもある	・アクア・チャッタ ・新町川を守る会 → 水上バス突証実験 ・浜田造船所 → 観光クルーズ ・鳴門市総合型地域スポーツクラブNICE → レッツ・キッズ・カヤック 毎月1回開催(新町橋~万代中央ふ頭) ・万代中央ふ頭の地権者 → にぎわいづくり協議会に入ってもらっている(将来的に町内会を目指している) ・万代中央ふ頭周辺の企業(協力者) → 万代町5丁目半分の半分にも達していない(清掃活動等に協力)	・防災、減災イベント → 源純夏さんが講師として、服を着たまま泳ぐ方法を指導する(FMびざんから提案) ・現在、条件付きの規制緩和と万代中央ふ頭の地権者に協議会に入ってもらっているが、温度差があるのでみんなで一緒に、万代中央ふ頭を盛り上げていきたい ・名物駅長をおく ・魚の朝市等 ・徳島市へのお願として → 徳島市で統一した標識を設置して欲しい	・倉庫以外の利用については、協議会の中の構想委員会で、審査を行い決定する ・イベントなどの決定には、事務局で検討をして決定する → 倉庫利用者にはイベントなどの活動にはおおむね賛成してもらっている → 助任橋棧橋のあたりでのイベントと連携できるものであれば、連携をしたい	・参加する	

【川の駅候補地で活動する団体：登録団体候補】(基本は一般募集とするが、事前調査としてヒアリングを行った)

活動団体名	ヒアリング対象者	川の駅候補地で使ってもらいたい場所	川の駅があれば良いもの	川の駅に期待すること	現在の活動内容等	一緒に活動している団体等	今後、川の駅候補地で活動してみたい内容等	活動決定する時のプロセス	登録団体としての参加
一般社団法人徳島青年会徳島所	長澤孝典 (市街地活性化室室長) 吉田啓司 (水都祭実行委員長)	・動物園跡地を活用したい ・中洲魚市場に棧橋があれば良い ・田岡病院の所に棧橋がかかかっているのも良いと思う	・助任川の徳島大学側にビーチがあれば良い ・東船場のように、川側に向かって開けている建物が増えること ・観光をメインにするのであれば、川に面している建物や橋の下面に絵を描く ・親水性のある場所 ・無料駐車場	・まちづくり(再開発)を中心にされている人たちに、もっと核になることの計画をして街全体を見て考えて欲しい ・両国・新町橋周辺で船を下りて、どこへ行くかの動線付けが必要 ・中心市街地(東新町)がもっと活気づく ・新町川へ流れ込む川の美化も大事 ・全体のイメージが見えたら、もっと突のあるものに変えて行ける ・ひょうたん島博覧会委員会、川の駅委員会、水都祭の委員会等の横の繋がりができること ・若い人が実際に集まってくる ・費用対効果のあるもの ・行政主体のもとで、各団体が集った方が活動を行いやすいのではないか ・ひょうたん島(川沿い)を遊歩道で整備し、ウォーキングやマラソンに利用する ・船で一周するだけでなく、船の上で物を売るなど川に目を向けてもらう ・阿波踊りを進化させていく → マンネリ北からの脱却 ・眉山から助任川まで直線でつながる	・とくしま水都祭(年に1回開催) ・東新町商店街	・毎年同じ団体と連携をしているわけではない ・イベントによって協力団体はかわってくる ・阿波まち活性協議会 → 水都祭 → とくしま水都祭実行委員会 → 水都祭	・車で見られる映画館 ・ひょうたん島博覧会 → 年度が変わったばかりで、単独でのイベントは行えない → 要請があれば、人員の補助作業はできる → 年4回のイベントの内、参加できる時に参加をする ・水都祭 → 河床や花火等を行いたい → まちづくりを行っている団体の連合会をつくって、みんなで協力して、水都祭をつくりあげていきたい ・実行委員長が毎年変わるため、委員長によって活動内容が変わってくる	・担当者が内容を決めて、他の人はサポートをする ・地域に根ざす活動をするというコンセプトを大切にしている ・委員長の人脈や会長の意向を反映した活動 ・決まった団体との連携はないが、どこの団体とも連携はできるが、営利目的ではない	わからない
一般社団法人まちづくり徳島	小田大輔 (代表理事) 矢部拓也 (副代表理事)	・駅周辺のホテルを使用時に、船で送迎してもらえるような川の駅	・川の駅ごとのテーマ → 新町川でしかできないことをコンセプトにする ・降りたところからしか乗れないのではなく、どこからでも乗降できる駅 ・運航の仕組みを考える → 子供が水辺で遊べる場所 → 友達が友達を呼んで広がっていく ・川の駅+川遊び → 駅の近くにカヤックなどを置く倉庫が必要 → 会員制にして、人数が揃ったら倉庫を建てる	・日常的なものになること ・川の駅+陸の駅 → 陸から見ても良い場所となる ・継続的な活動の場となること ・川の駅周辺の空き店舗の紹介 → 川の駅周辺の空き店舗に、拠点(事務所)を移す ・川沿いでお店をしている人たちを巻き込む ・文化をつくるのが川の道をつくる ・「徳島は結婚式の時、川からホテルへ行ける」伝説をつくる → あわぎんホールや万代倉庫からホテルへ船で送迎をする ・冠婚葬祭の会場へは川から移動(法事などで活用できる) ・将来的に川の駅をネーミングライツにして、ホテルから駅の建設費を出してもらおう仕組みにする ・動物園跡地を賞賛物件にする → 経済を回す	・まちなかキャンパス → 徳島アゴラ～まちなかキャンパスから考える徳島の若者の市民活動～ → あわホームホスピス研究会 → 大学のゼミ授業 → 各種講座・教室 → 各種団体の会議や打ち合わせ → プログラムの勉強会(昨年度は5回開催)	・徳島活性化委員会 → まちなかキャンパスで、様々な企画を行ったり活動報告 ・あわホームホスピス研究会 → 月に一度の会員の意見交換会や、在宅ケアボランティアの育成研修 ・徳島カーボン・オフセット推進協議会 → 理事会や定期研修会とくしまマルシェ出店前の作戦会議 ・徳島大学、四国大学等 → ゼミ授業 ・ウラベン徳島 → Web制作を学んだり、意見の交換を行う	・事務所を川の駅に移せるのなら、ラフティングポイントなどを提案する ・権限をもらえるのなら、いろいろなことを行うことはできる ・日常的に利用できるものを行う(日常的サービスの提供) ・自分たちが前に出てイベントを行うのではなく、サポートを行う ・今ある需要のものを新しくリメイクする	・大まかな利用方針は決まっていて、利用する人のサポートをメインに行う ・利用申込書と企画書(イベント内容や会議など)をメールで送ってもらい、それを審査し面接を行い決定する ・利用趣旨のあう人に利用してもらおう	
有限会社浜田造船所	浜田健造 (代表取締役)	・新町橋河畔棧橋 ・万代中央ふ頭棧橋	・トイレ ・待合所(屋根・ベンチ) ・船を係留するときの、強固なピッド ・エムズハピネスが係留できる棧橋	・各駅で定期的にイベントを行い、川の周辺に人々を集約する	・観光クルーズ → ビアクルーズ(グランヴィリオホテルと連携) → クリスマスクルーズ → 近隣の幼稚園などを乗せてのクルーズ	・万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会 → 観光クルーズ ・グランヴィリオホテル → 観光クルーズ ・アクア・チッタ	・観光クルーズ		参加する
吉野川支援の輪	桑原純子	・万代中央ふ頭棧橋 ・新町川水際公園ポーターハウス前棧橋	・水道施設(使用した物を軽く洗える場所) ・ライフジャケットなどを干せる場所 ・更衣室 ・日陰 ・イベントを行っているという目印(旗を立てるなど) ・駐車場	・川の駅の利用のしやすさ、誰でも入りやすい環境 ・乗り降りしやすいボート ・イベントを定着させて、リピーターを増やす ・イベント時の荷物の搬入がしやすくなること ・新町橋から水際公園の入り口を広げて、道路から公園へ人が流れやすくなる	・水際公園で、つながりフェスタ ・新町橋～万代中央ふ頭で、カヌー体験	・アクア・チッタ ・新町川を守る会 ・川塾	・水際公園で、つながりフェスタ → 人の流れのあるところで行いたい → 徒歩の人も、県外からの観光客も来場しやすいところ ・新町橋～万代中央ふ頭で、カヌー体験 → 周遊船やジェットスキーに気を付ければ、初心者もカヌーをしやすい場所 ・川遊びを教えたい	・活動をしたい人が、声をかけあっておこう	わからない